



汚

された

マジックリリング

予備役製作所







汚されたマリッジリング

登場人物

佐久間 圭介

弘明、穂乃花の幼馴染。
留学したのを機に二人とは疎遠に。
父の経営する会社で働く。

桜木 弘明

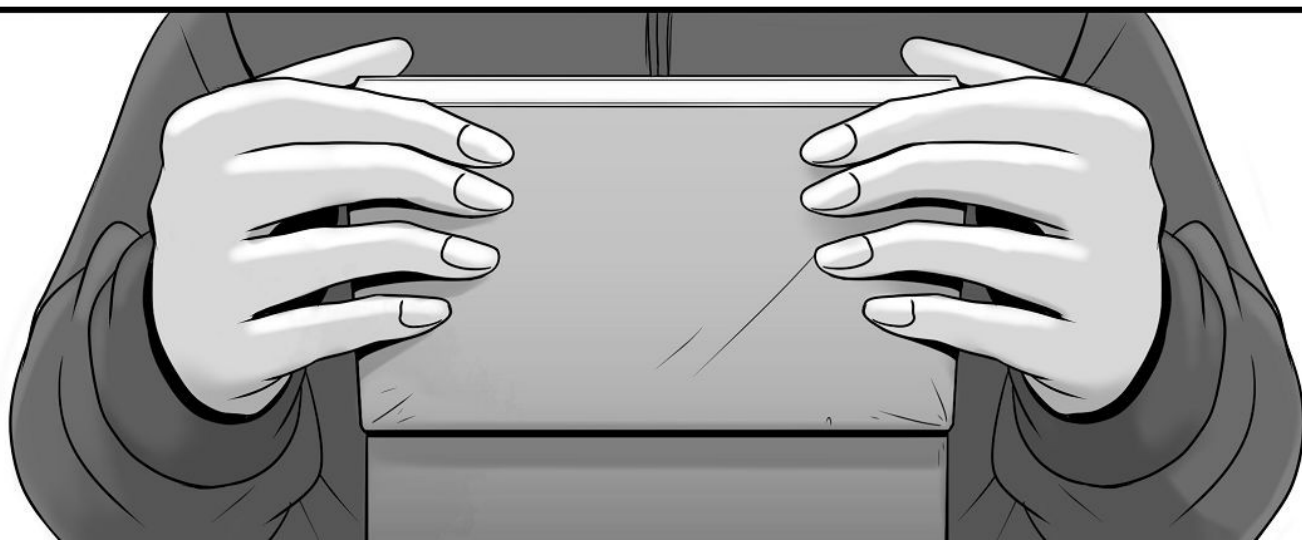
穂乃花の婚約者。
穂乃花、圭介とは幼馴染。
小さいながらも会社を経営する。

藤咲 穂乃花

幼馴染だった弘明との結婚を控え幸せ絶頂。
同じく幼馴染の圭介とは弘明には言えない因縁があった。

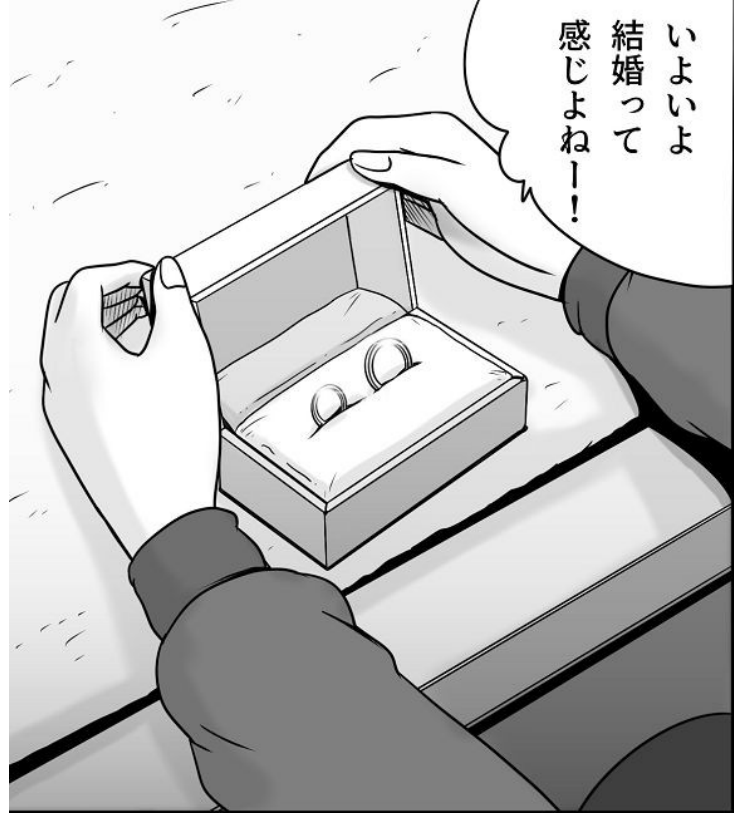


わあ！



すごい！

いよいよ
結婚って
感じよねー！



予定より早く
仕上がった
って言うから、



仕事帰りに
引き取って
きたんだ。

穂乃花も
早く見たいだろう
と思ってね。



結婚指輪って

やっぱ実感が
沸くわね！

婚約指輪
でも

実感湧いて
欲しいな〜！
アレだって
相当頑張ったんだよ。

分かっていますよ。

旦那様！

ところでさ、
披露宴だけど

あのレストラン
そんなに広く無いじゃん

そうねえ、

お互いの両親と
会社の上司、
友達はちょっと絞らなきゃね。

私の名前は 藤咲穂乃花。
二十四歳のOLです。



彼は 桜木弘明。
小さいながらも企業向けシステム開発会社を
経営しています。

彼とは小さい頃からの幼馴染で
中学、高校、大学も一緒。

大学時代から
恋人として付き合い始めて



ようやく
結婚する事になりました。



この部屋も結婚のために新しく借りました。

ただ、住んでいるのは私だけで
彼は仕事の都合で
まだ一緒に暮らせていないのですが…



人数は多少
絞ったとしても

やっぱり、圭介は
呼ぼうと思うんだ。

圭介君？

あいつが留学してから
疎遠になってるけれど、
高校までは一緒だった
わけだし。

お祝いして
貰いたいんだよ。

...

そうね、
来て欲しいわね。

佐久間圭介君...

佐久間圭介君は、私達二人のもう一人の幼馴染。

彼とも、中学高校が同じで
三人で良く遊んでいました。

三人共に帰宅部で
よく集まっては
くだらない事で盛り上がったたり

ゲームをして遊んでました。
まあ、時々勉強もしてましたが…

あの頃はこの関係がずっと続くと
思っていました。

そう、圭介君が留学する
あの日までは…

ねえ弘明、



これ、付けてみて
良いかしら？



やめとけよ！

やっぱり
本番で初めて
付けなきゃ。

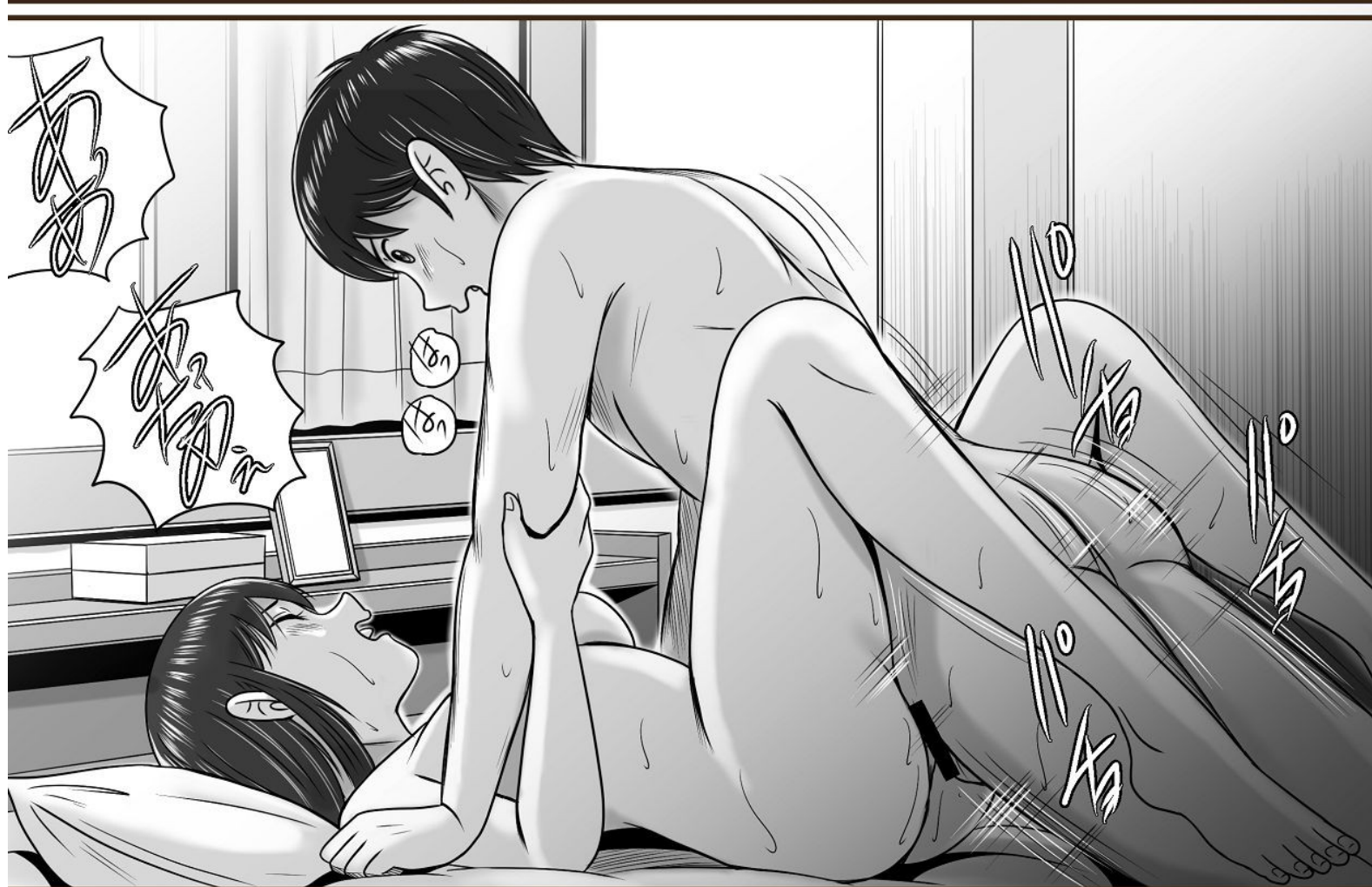


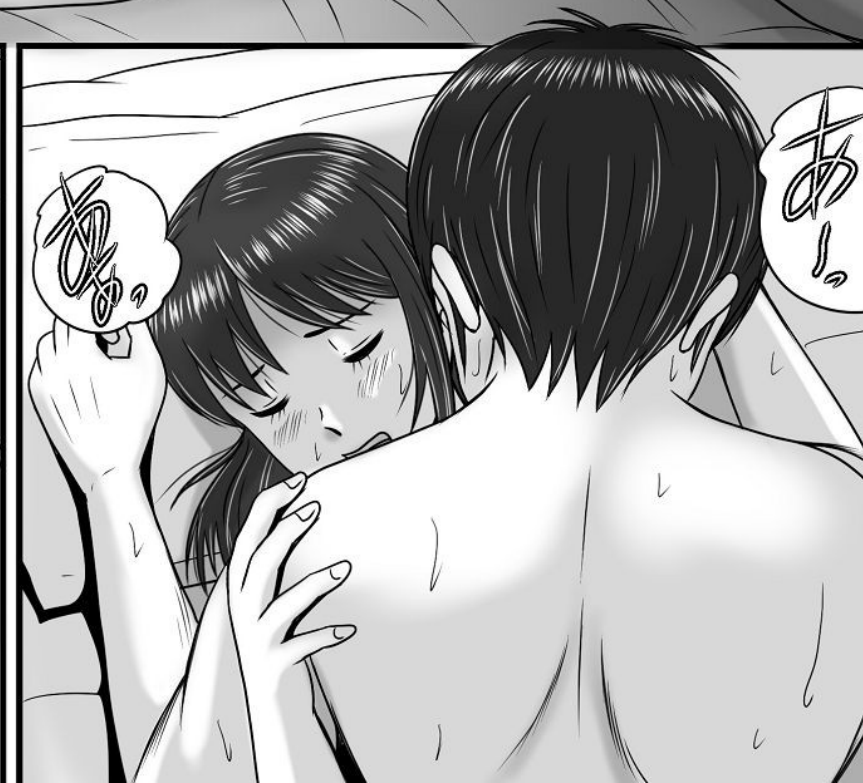
そうね、
結婚指輪だもんね。



やっぱ
やめとく...







ねえ弘明、

結婚したら
こういうの付けないで
できるかしら？

そうは
いかないよ。

！

うちの会社も
まだまだだし

もっと経済的に
安定しないと
家族を増やすわけには
いかないよ。

そうね。

弘明の
言う通りだわ。

でも、
うちの会社も
何とかなりそう
なんだ！

圭介のお父さんの
会社。
知っているだろう？

そこが、うちの
システムを全面採用
してくれそうなんだ！

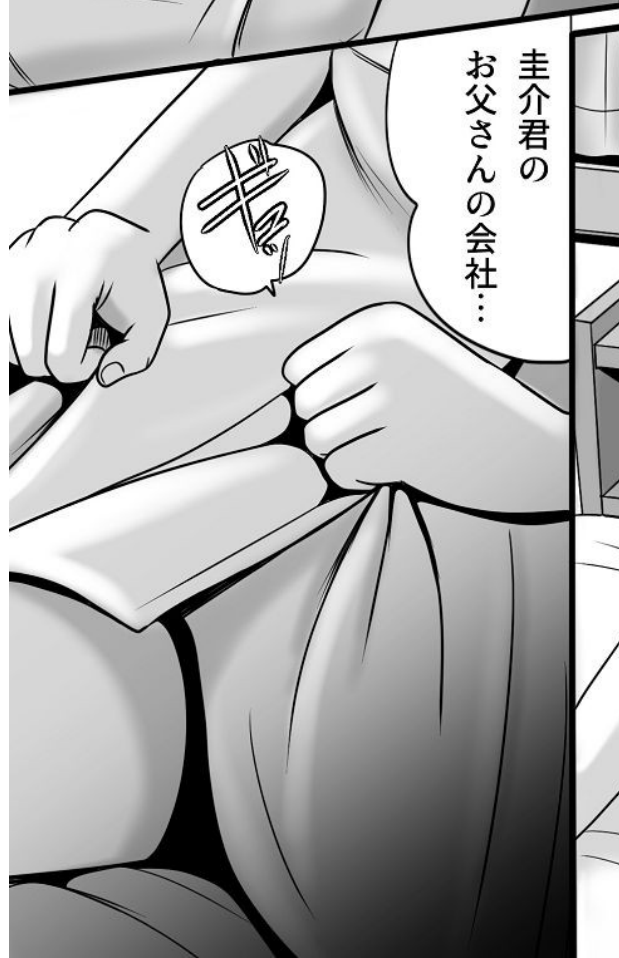
この案件が成功すれば
会社も軌道に乗れる。

圭介君の
お父さんの会社？

圭介は今回の案件には
直接関係無いらしいけど

圭介のお父さんが
推してくれたんだ。

圭介君の
お父さんの会社…



これで
借入金は返せるし

今回、うちは
コレに賭けてるんだ。



頑張って成功させて
結婚に花を添えるよ！



そういえば
圭介のお父さんも
披露宴によばなきや！

主賓でも
良いかな！



そ、そうね…



張り切る弘明をよそに
私の心の中には
いい知れない不安が
広がっていました。

まるで
晴れ渡った空に
黒い雨雲が広がるように…



数日後...

ふうっ...

ご馳走さま...

ついインスタント
ばかりになっちゃう。

やっぱり
一人の食事は
味気無いわね。



この前話した圭介のお父さんの
会社との案件が
やばい事になっちゃった。

先方の担当者がシステムの採用が
できないって言うんだ。
致命的なバグがあるって言うんだけど

バグなんか無いはずなのに
先方はちゃんと説明してくれないし
採用できないの一点張りで...

どうやら社長、圭介のお父さんの
一存で採用見合わせになったらしいんだよ。
一度は合格した筈なのに！

全ての責任はこっちにあるって言うから
納品できなければ、キャンセルだけじゃ済まなくて
莫大な違約金も発生するんだ！

もしそうになったら
うちの会社は最悪倒産だ！
ともかくしばらくは会社に缶詰だ。

結婚式の準備は穂乃花に任せるから
何とか頑張ってくれ。
また連絡する。じゃあ！

と、とにかく
が、頑張ってるね！

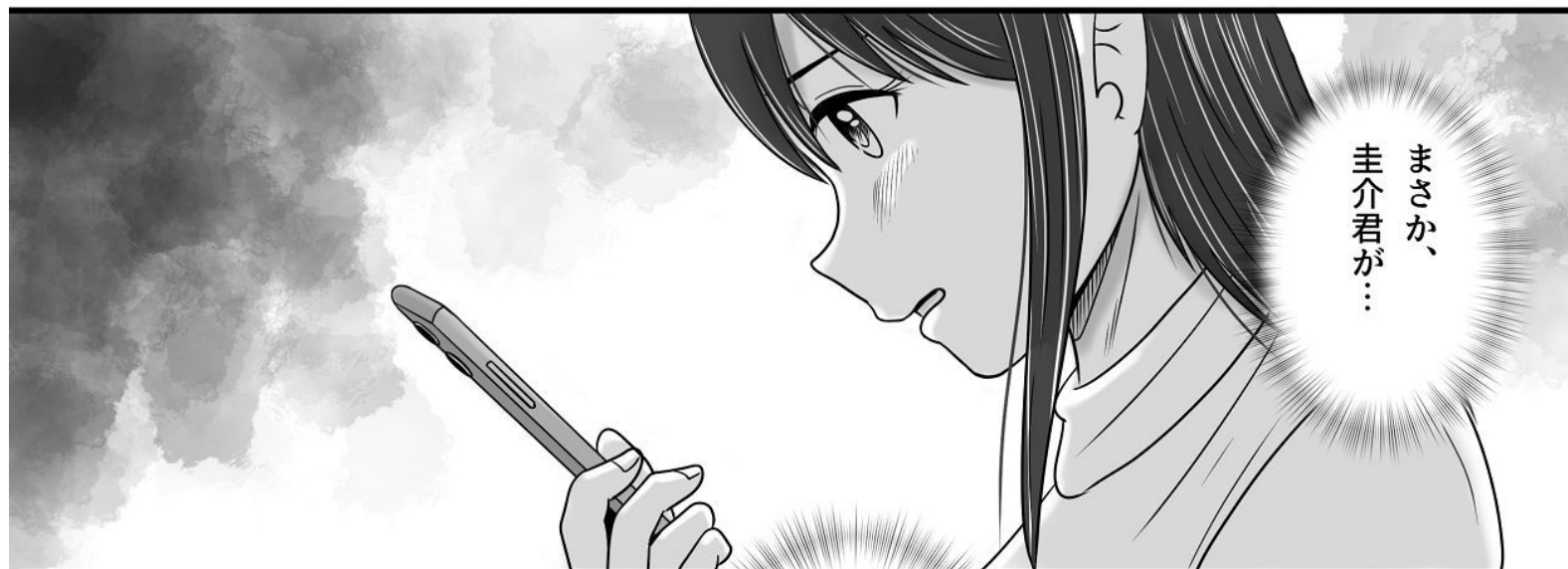
ハハ

一体どうして
こんな事に…

もし弘明の会社が
倒産でもしたら
結婚式なんて
無理だわ…



まさか、
圭介君が…

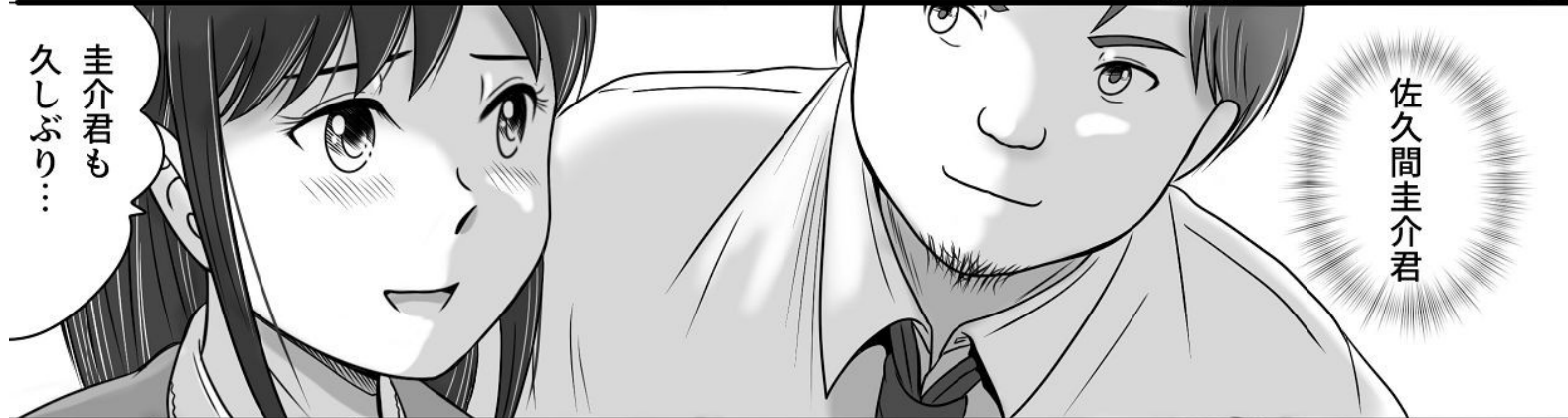


もしそうなら
確かめなくちゃ。









婚約
おめでとう！

あ、ありがとう。

しかし、
やっぱりというか
結局弘明と
くっついたか。

俺が留学中に
よろしくやった
というわけか。

全く、あいつに
抜け駆けされた
気分だぜ。

そんな

抜け駆け
だなんて…

ね、ねえ圭介君
電話でも話した
けど…



弘明の
会社の事

何とかならない！

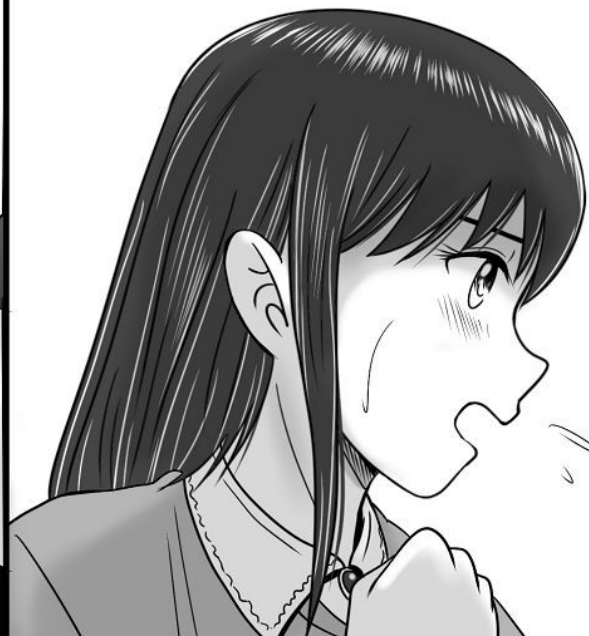
電話でも言った通り
あれは親父の
決めた事だ。

俺には
関係無いね。

お前は
俺が親父に手を回したと
疑っているようだが。

違うんなら
お父さんを
説得して、弘明を
助けてよ！
私達、幼馴染でしょ！

なあ
穂乃花。



俺はな、海外で揉まれて
成長して戻って来たんだ。

随分と嫌な想いもしたが
今では親父の会社を
支えられるくらいには
成長したと思っている。

それもこれもお前に
俺を認めて
欲しかったからだ。

俺を認めて
俺のものになって
欲しいからだ。

今更何を
言っているの！

私は弘明と
結婚するのよ！
圭介君の思い通りには
ならないわ！

第一あの日
あんな事をしておいて
押し付けがましい事を
言わないで！

別にこの期に及んで
弘明との間に割って入ろう
なんて思っていないさ。

それにあの日の事は
俺も素直に反省している。

本当に
そうなの？

ただね、

俺はやっぱり
腑に落ちないんだよ。

なぜ、俺でなくて
弘明なのかってね。

そう、あの日の事…
それは高校卒業を控えた
ある春の日…

その日は
留学を控えた圭介君の
送別会を開くため
いつもの三人で集まるはず
でした。

ところが、弘明が
体調を崩したため
私と圭介君だけに
なりました。

圭介君はその日
私に告白してきました。

そして、私の返事を聞かないうちに…

圭介君！
何すんの！

お願い！
やめて！

突然襲いかかってきました。
きつと、留学が迫っていたので
凄く焦っていたのだと
今ならわかります。

穂乃花！
俺はずっとお前が
好きだった！

俺のものに
なってくれ！

嫌よ！

しかし、怖かった私は、
思わず言っではいけない事を
言ってしまった。

私はあなたなんかより
弘明がずっといいわ！

何で俺でなくて
弘明なんだ！

圭介君
止めて！

圭介君は
その言葉に激昂し
私の下着を剥ぎ取り…

でもどうにか
すんでのところで
圭介君を
押しのける事が
できました。

圭介君はすっかりしよげて、帰って行きました。

幼馴染の私達が疎遠になってしまったのは
そんな事があったからなのです。

もちろん
突然襲いかかってきた
圭介君が悪いに
決まっています。

たとえ、留学前に
思いを
遂げたかったとしても
許される事では
ありません。

でも
私ももう少し冷静に
話を聞いてあげればと
後悔はしているのです。



なあ穂乃花。

あの日の話は
弘明にはしていないのだろう？



結婚前に
聞きたい話じゃ
無いよな？

ただでさえ
会社が大変なのに。



俺は決して
弘明には言わないよ。
幼馴染だからね。

それに

弘明の会社の危機は
ビジネスの問題だ。

ビジネスの問題解決には
ギブアンドテイクが必須だ。
今の俺ならそれが出来る。

上に部屋を
とってある。

聡明な穂乃花なら
意味はわかるよな。





どうしよう...

結局圭介君と
部屋に
来ちゃった...

いくら
弘明の為とはいえ

やっぱりこんな事
許されるはず無いわ。

私達、
幼馴染なんだから
圭介君も
本当は弘明を助けない
はず…

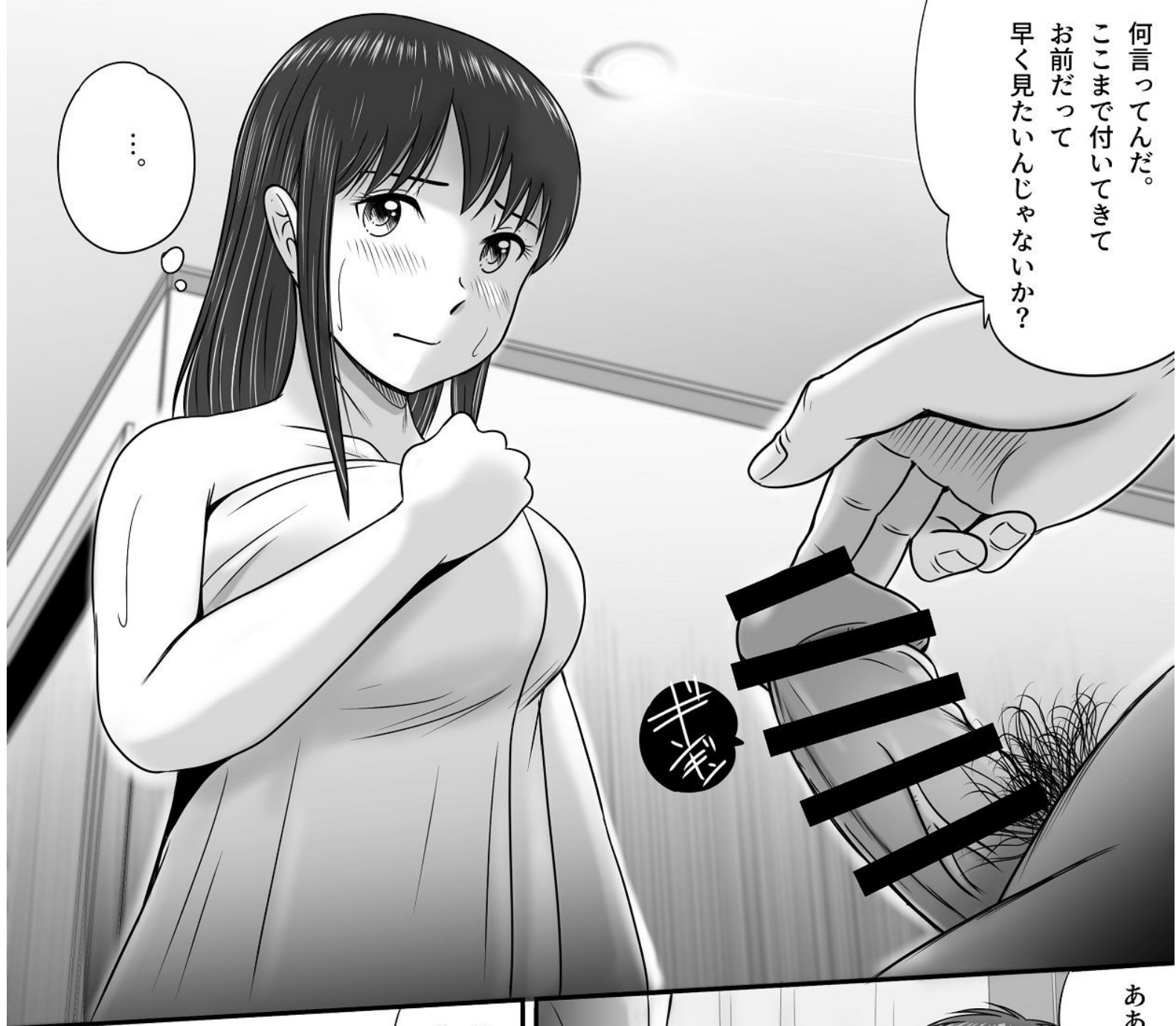
あの日の事だって
もう一度ちゃんと話せば
分かってくれるはず…
だから…

ねえ
圭介君…

私やっぱり…

!







気持ち良く…



どうだ？
立派だろう。

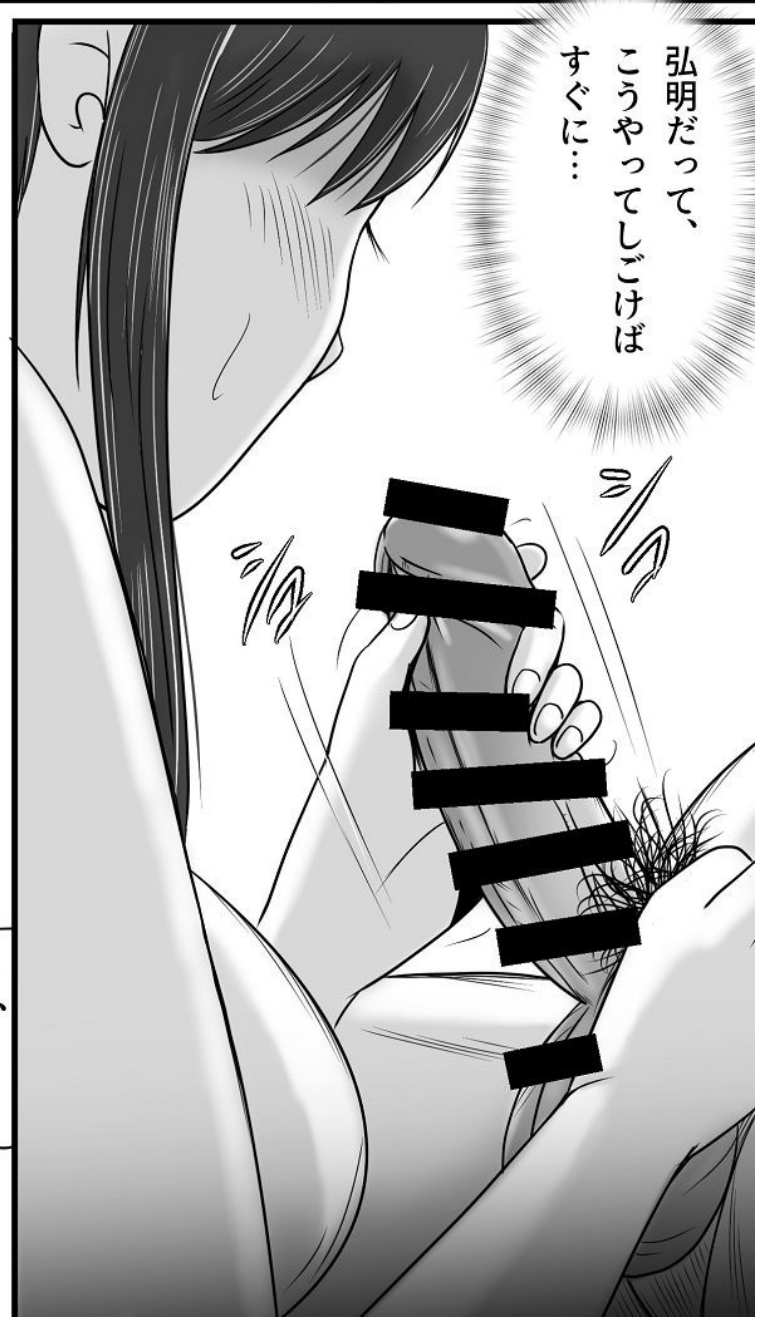
じゃあ
気持ち良く
してくれるかな？

そ、そうね。
一度出してしまえば

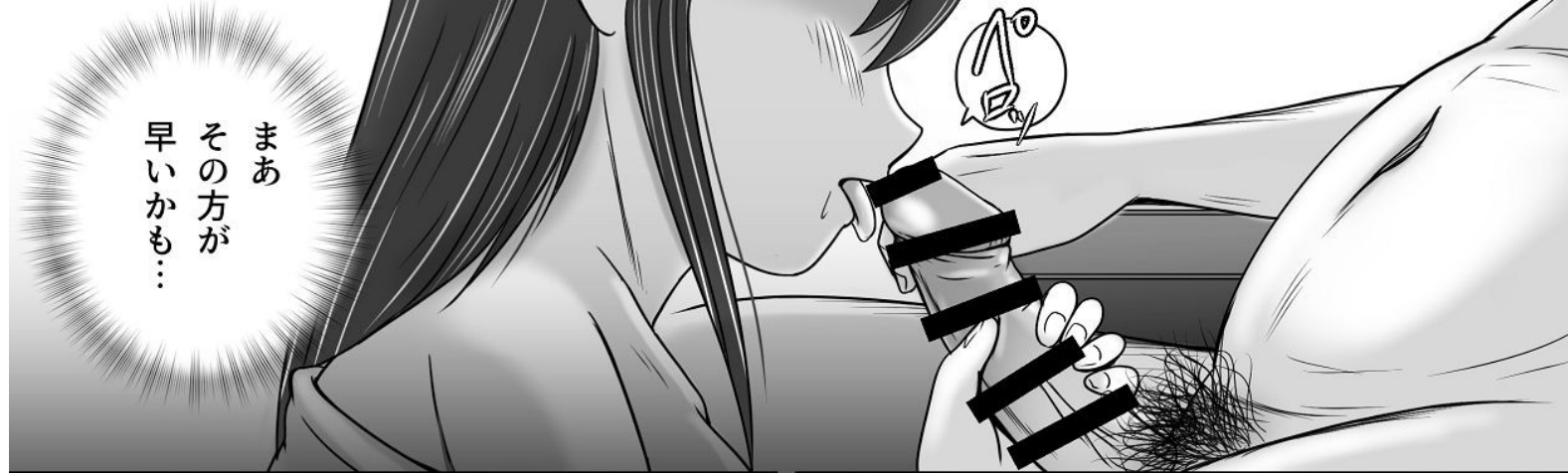


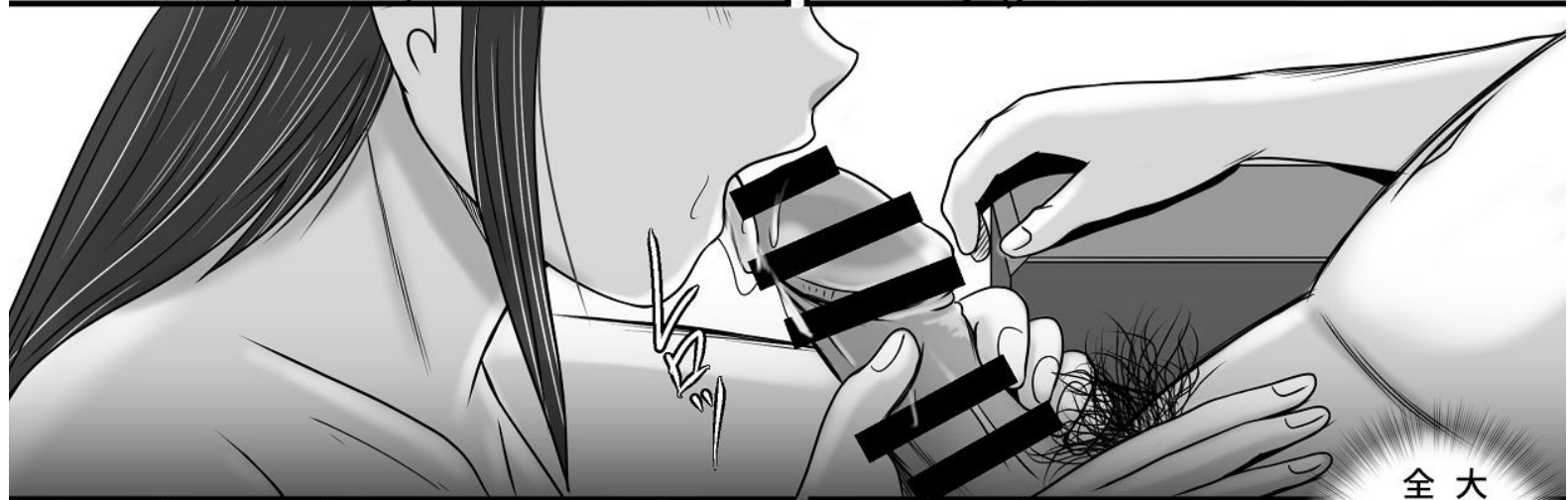
落ち着いて
話を聞いて
くれるかも…

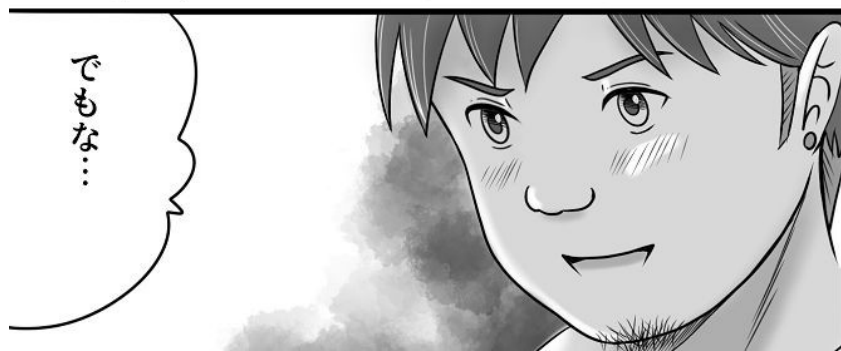
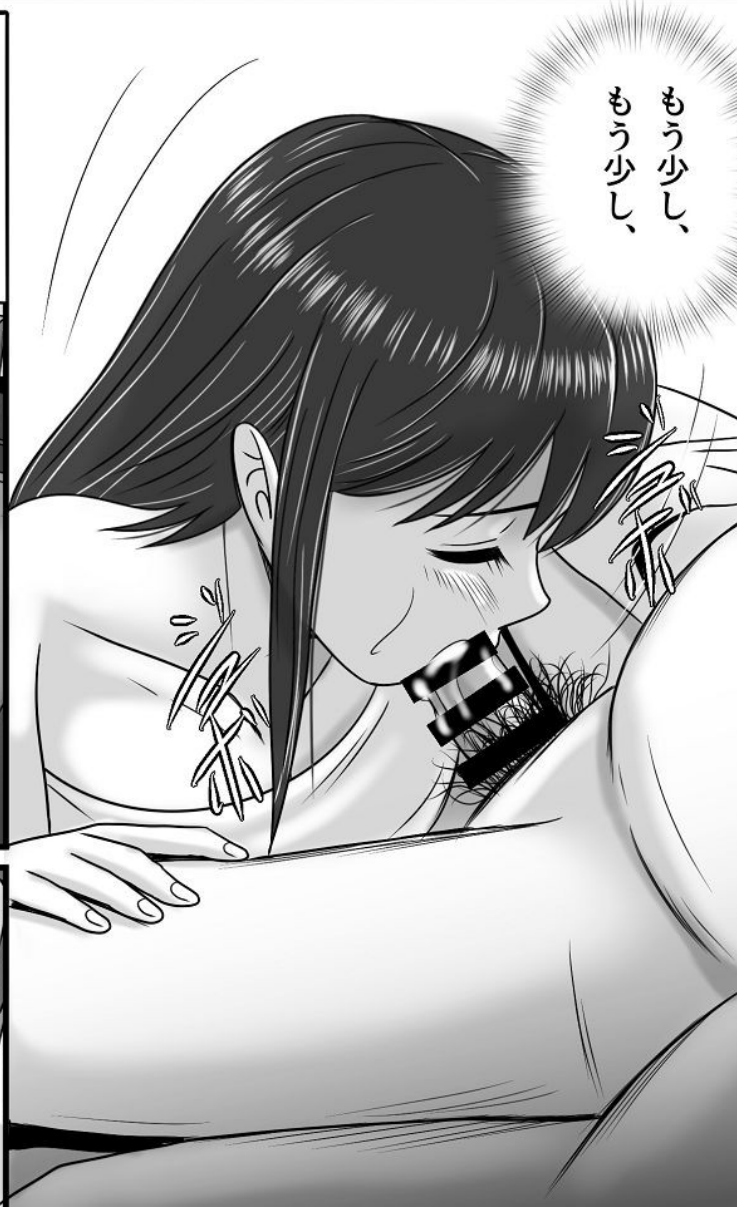
確か
賢者何とかって
言うやつ…



まあ
その方が
早いかも…









け、圭介君…

そういうの
ちよっと無理…

穂乃花、お前フェラで
誤魔化そうと
思っただろう。

そんなに簡単に
俺はいかないよ。

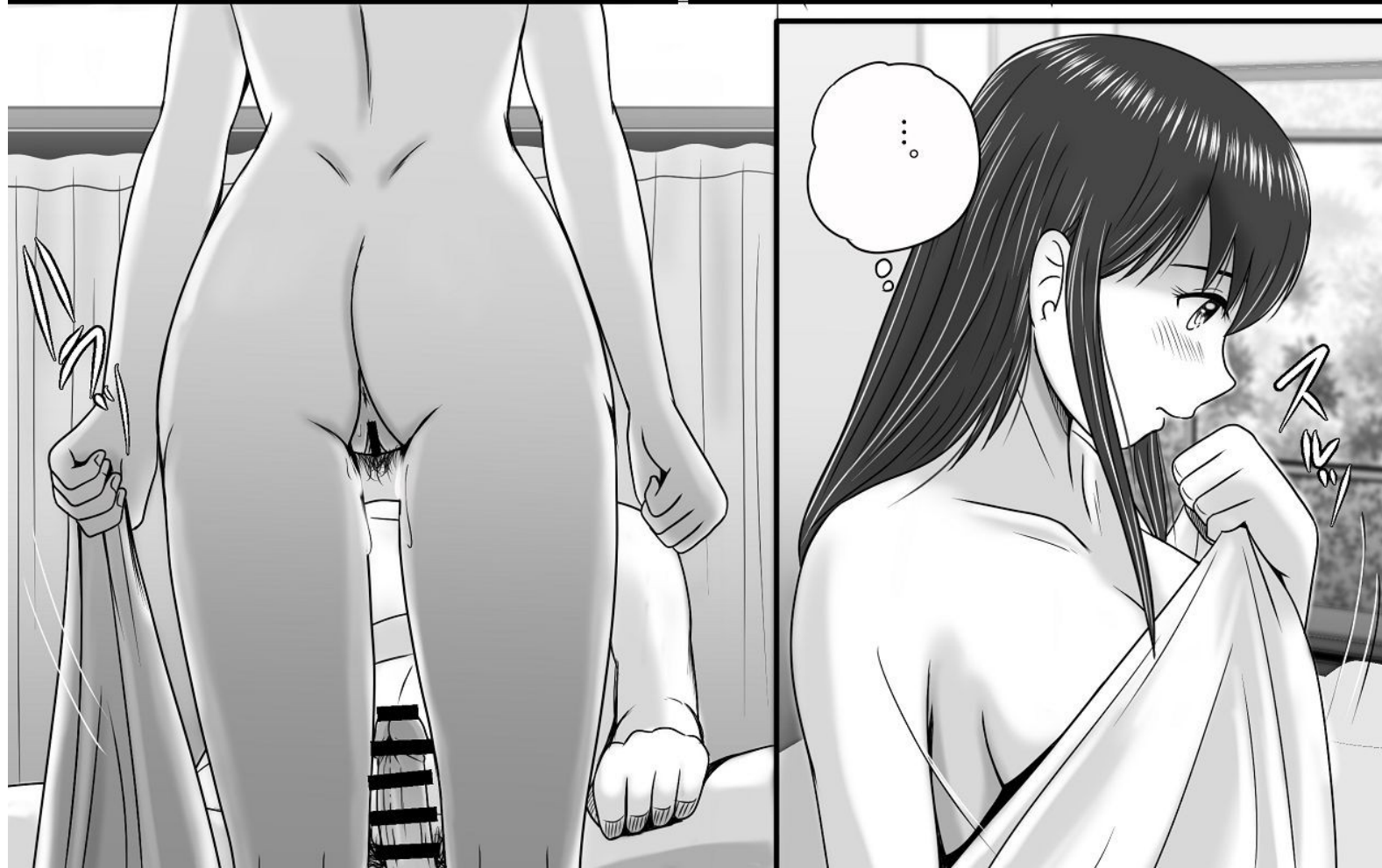
み、
見透かされてる！

お願い！

ちよっと
圭介君！

それは…
それだけは…





おー！

穂乃花、

お前、
めっちゃエロい
体してんな。

こんな明るい所で…
恥ずかしい…





それに
弾力もすげえなあ。

んん

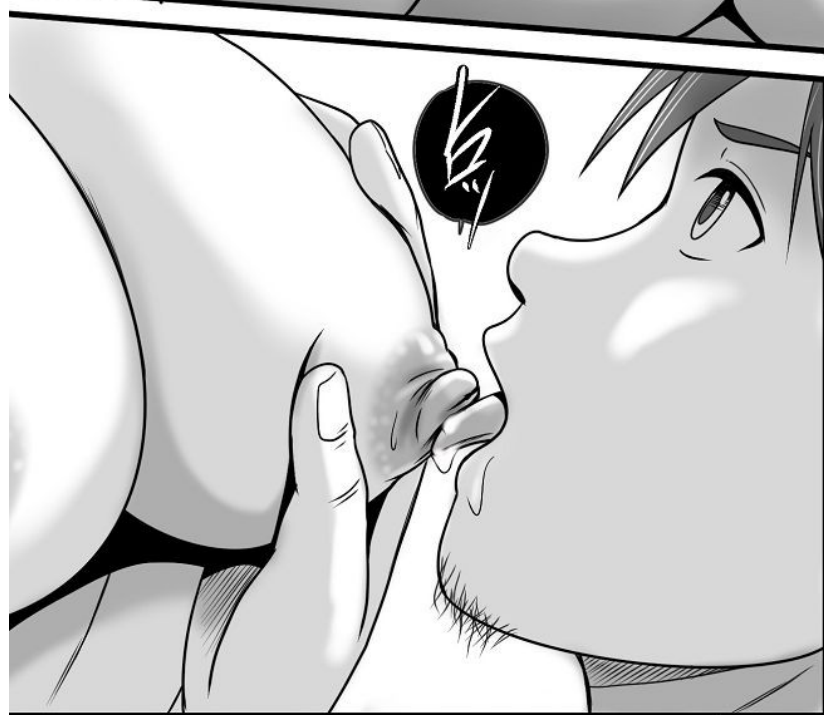
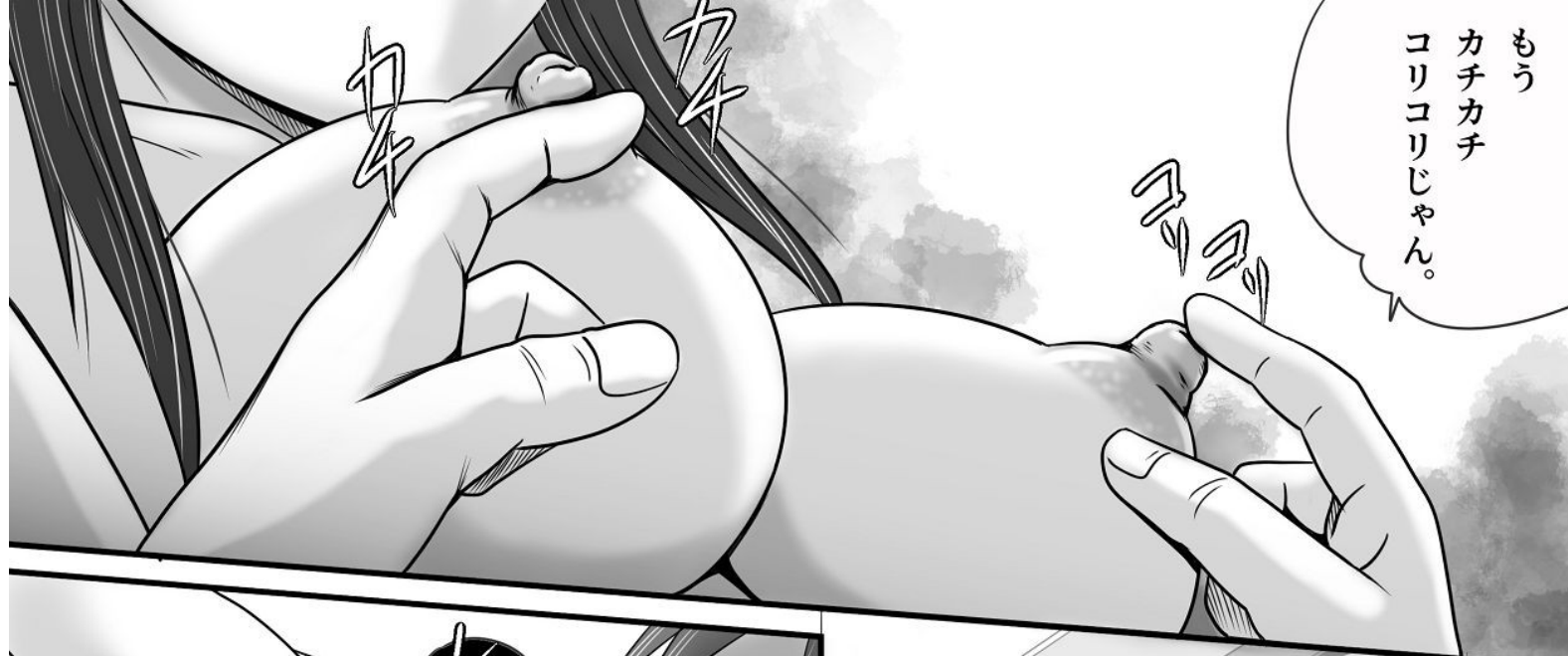
あ

乳首も
でっかくなった
んじゃないのか？

ここも弘明に
吸われて
成長したのか？



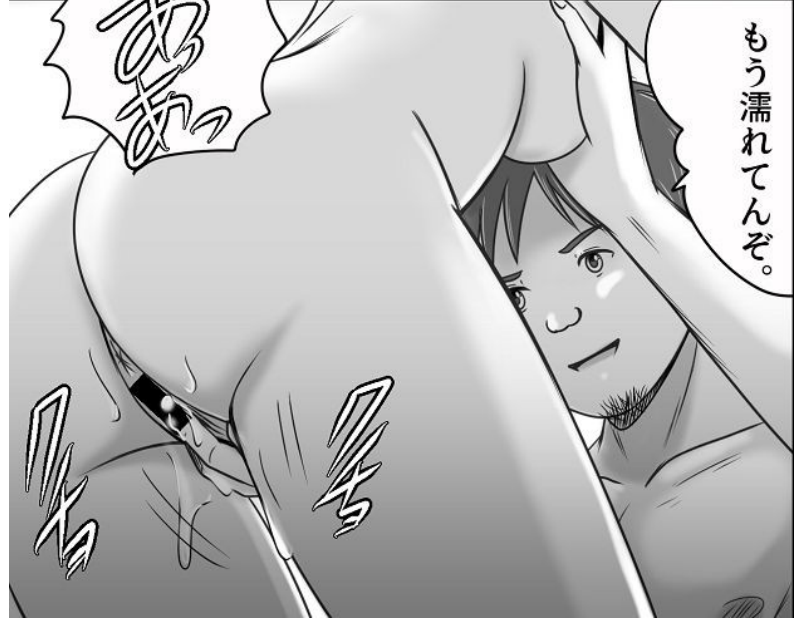
もう
カチカチ
コリコリじゃん。

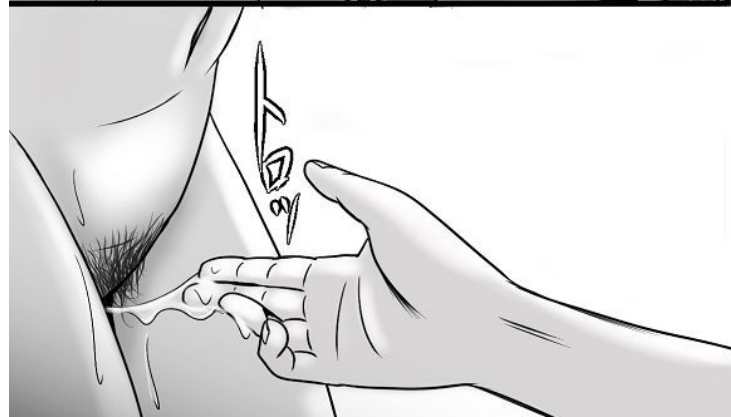
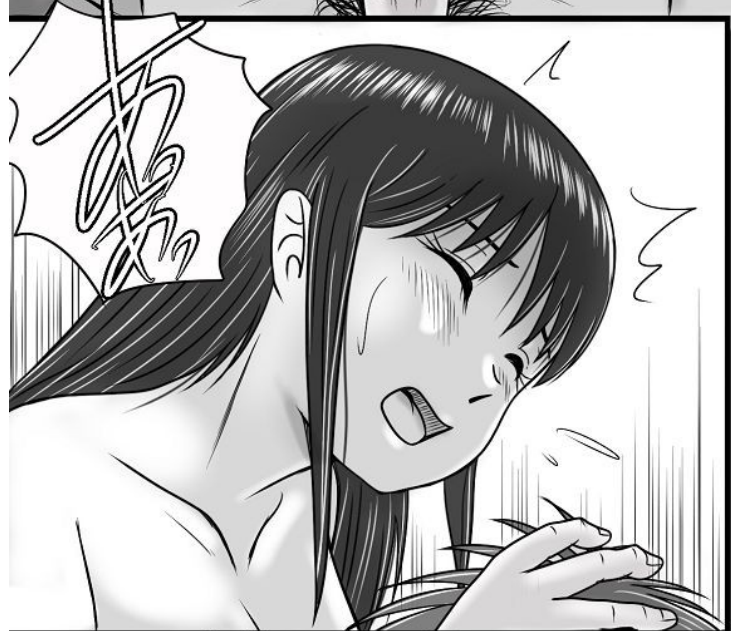
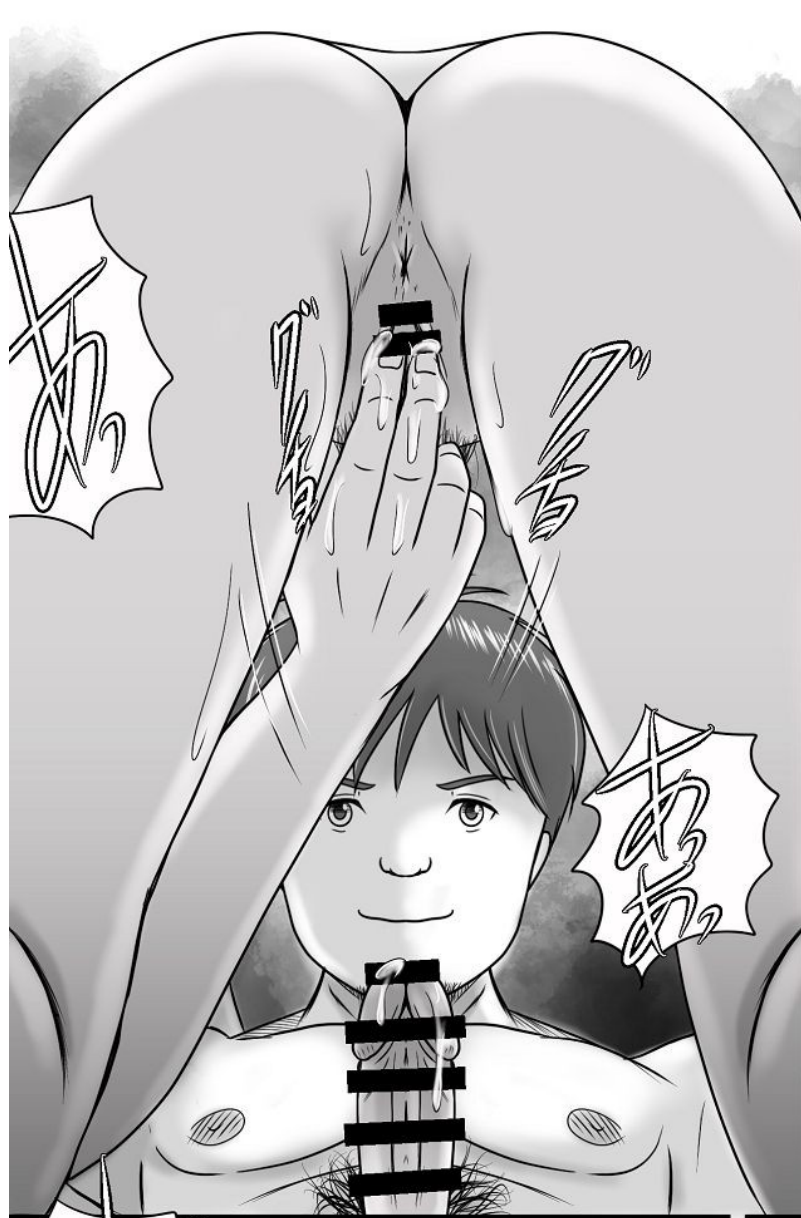


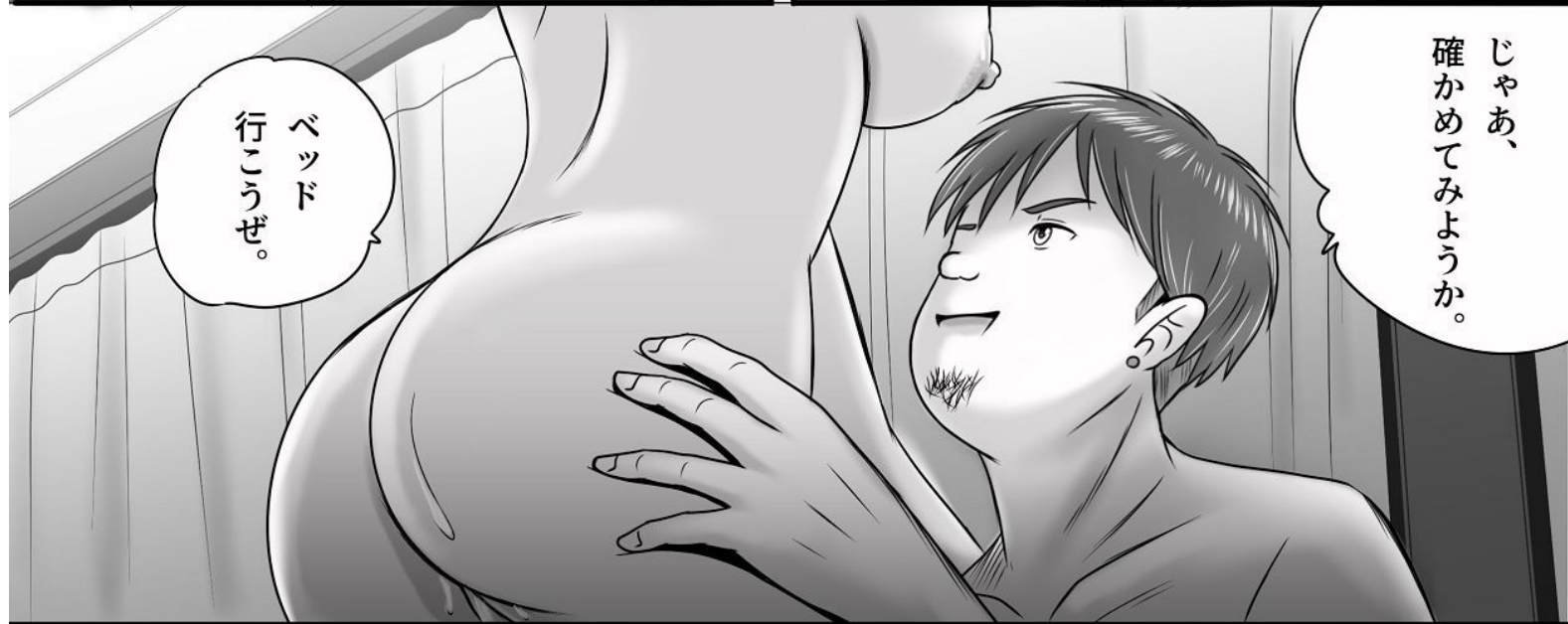
俺も
しゃぶってん

成長に
協力してやる。











なんだ
穂乃花！

お前、まんこ
めっちゃ綺麗
じゃん。

け、圭介君…

弘明のヤツ、
あんま使ってねえのか？
もったい！

それに
もう雫が溢れて
尻まで垂れてるじゃん。

あんまり
見ないで…

何言ってるんだ。

あの日

見られなかったんだ。

じっくり奥まで見せてもらおう。

ぽ

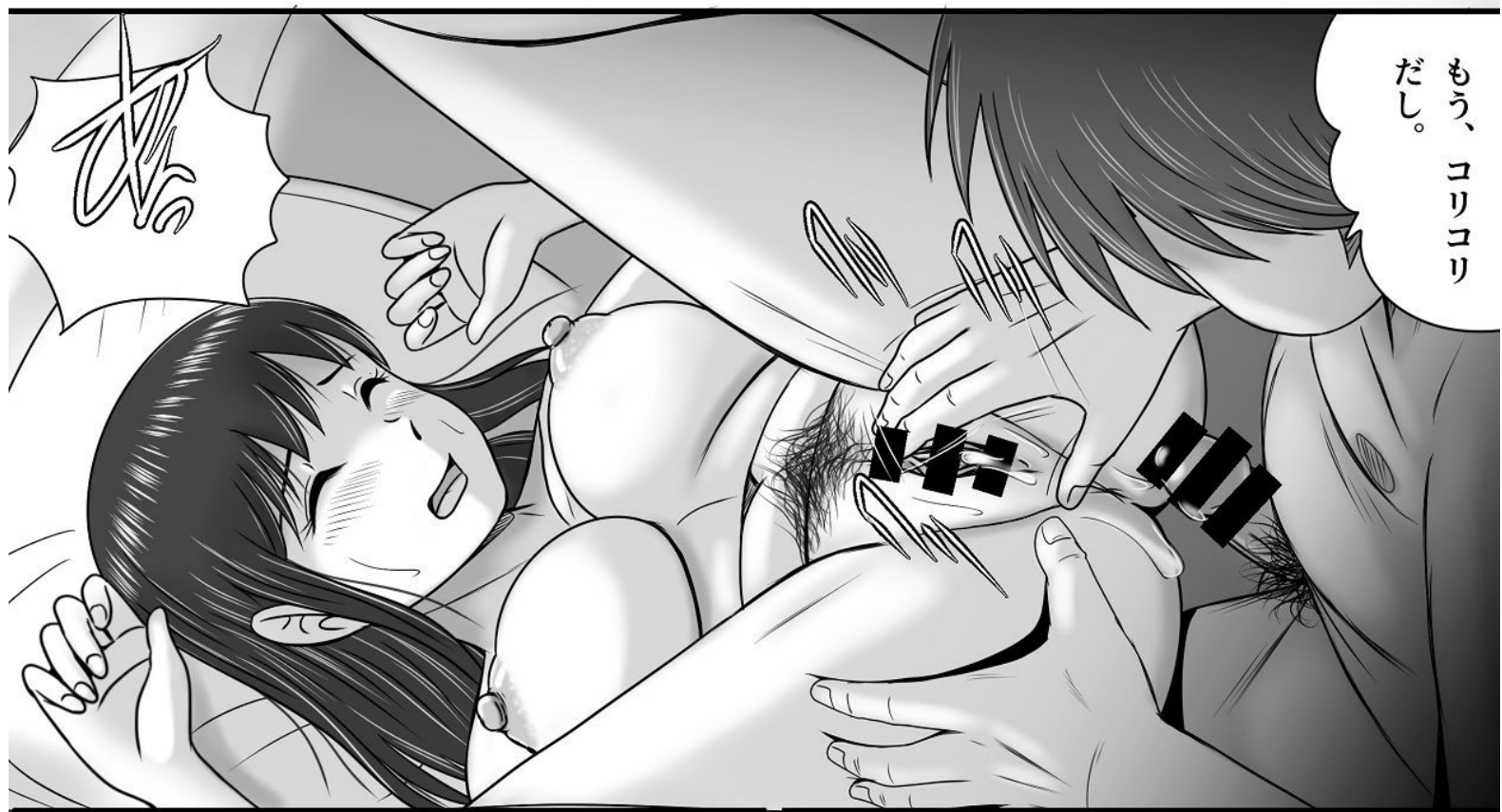
クリの感度は
どうかな？

あー！

なかなか
良さそうじゃん。



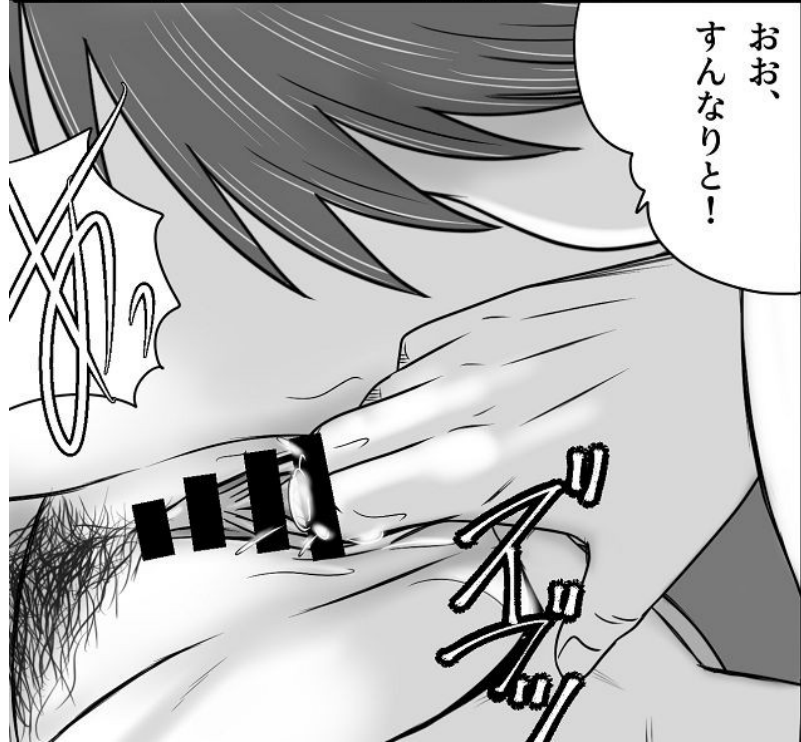
もう、
コリコリ
だし。



中は、
どうかな？



おお、
すんなりと！



入り口は
ともかく
中はキツキツ
じゃねえか。

指、持っ
てかれ
そうだぞ！

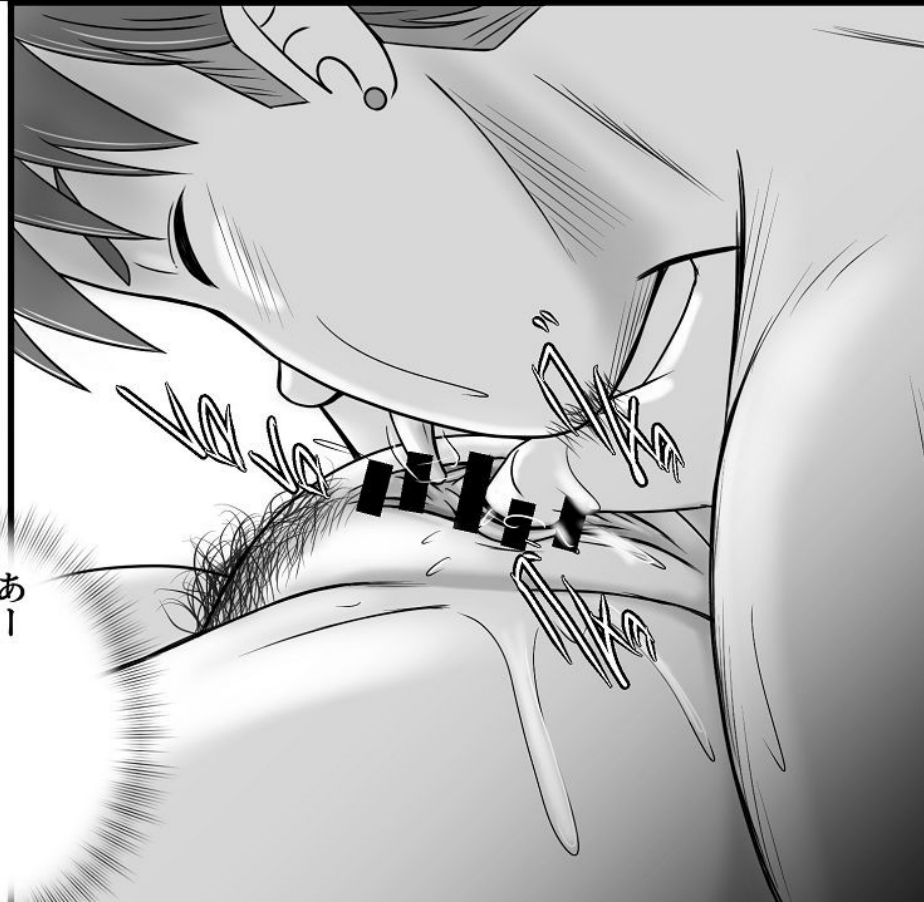
圭
介君！

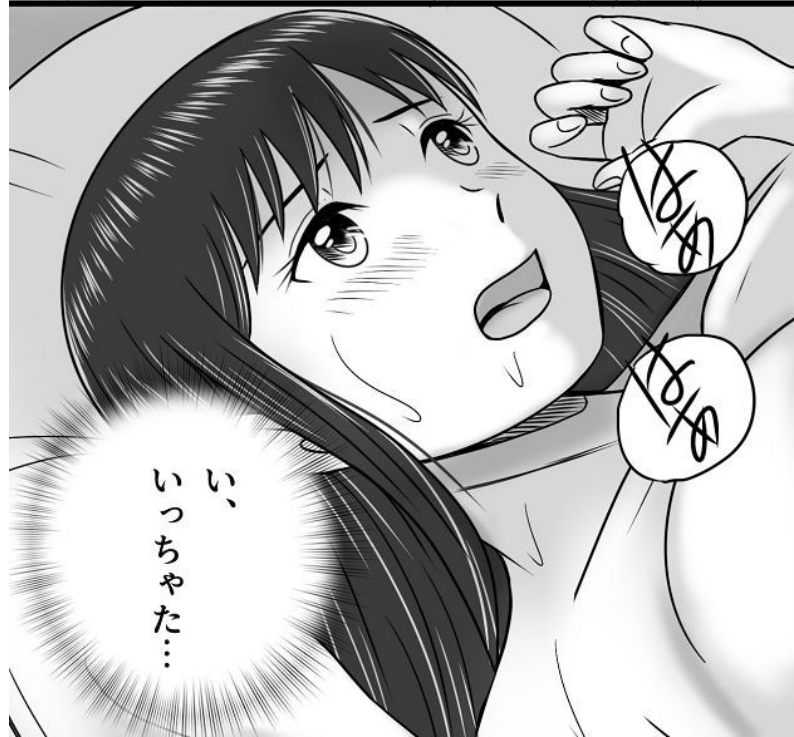
いきなり
激しすぎ！

こりや
名器の予感！









い、
いっ
ちやた…



へっ!

なんだ
もういったのか？

まあ、俺のクンニで
いかなかった女は
居ないけどな。

じゃあ、次は
俺がいかせて
もらおうかな。

さっきから
我慢汁ドバドバ。

俺も
すぐいきそうだ。

何とか圭介君を
説得して…

どうしよう…
このままじゃ…

…

ねえ
圭介君…

やっぱり、
これ以上は
やめておこうよ。

何だったら、
私がか口で…
それでいいでしょ？

何言ってるんだ！

お前のフェラじゃ
何年経っても
いけないよ。

親父にはちゃんと
口を聞いてやるし
あの日の事は
弘明には言わない。
それでいいよな？

ちよつと！

圭介君！

ゴ、ゴムは!?

おいおい
ここはラブホ
じゃないんだぜ。

そんなもの
あるわけ無いだろう。

心配するな、
ちゃんと外に
出すからよ!

ちよつと!

ダメ!

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ



ああ！
い、入れられ
ちゃった…
弘明…！

うわ！
すげえキツツイ！





えっ!



どうだ
穂乃花。



何これ!

お腹がグッと
押されるみたい。



そ、それで
こんなに...

あいつとは
大きさも形も
違うからな。



急に動くと
きついだろう。



だからな
穂乃花。

お

お



しばらく
このままで
少しならそうか。

お前のまんこが
俺の形に変わるまでな。



圭介君の
形に…



お

お



私、
圭介君形に
変えられちゃうの？



動くぞ。

そろそろ
いいだろう。

圭介君…



そ、そんなの
嫌！

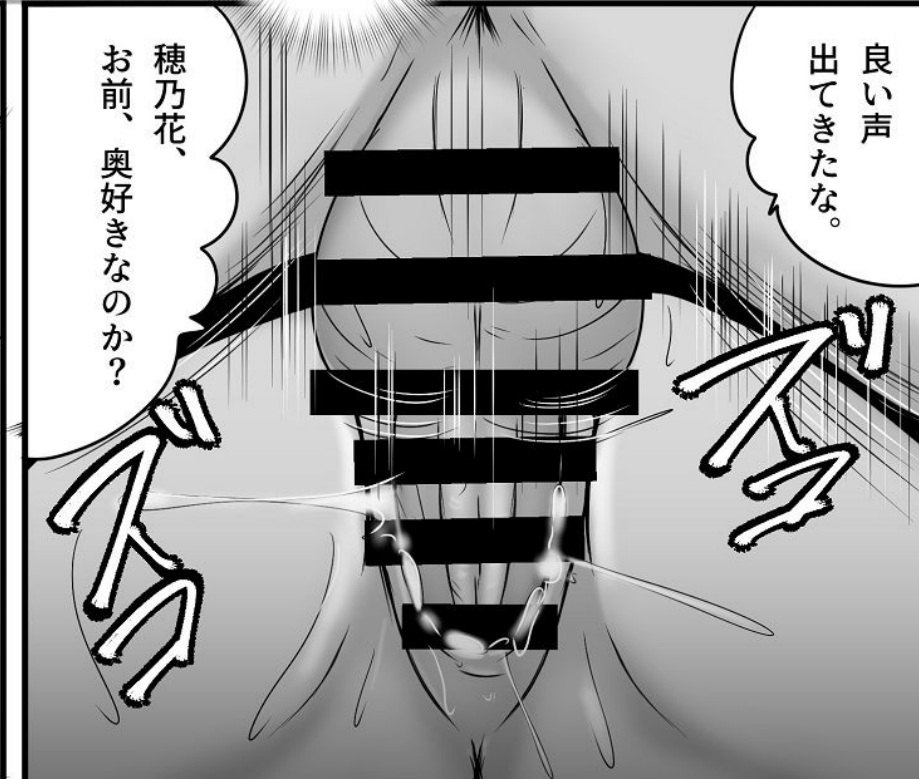


私は弘明と
結婚するの！

圭介君の形になんか
なりたく無い！

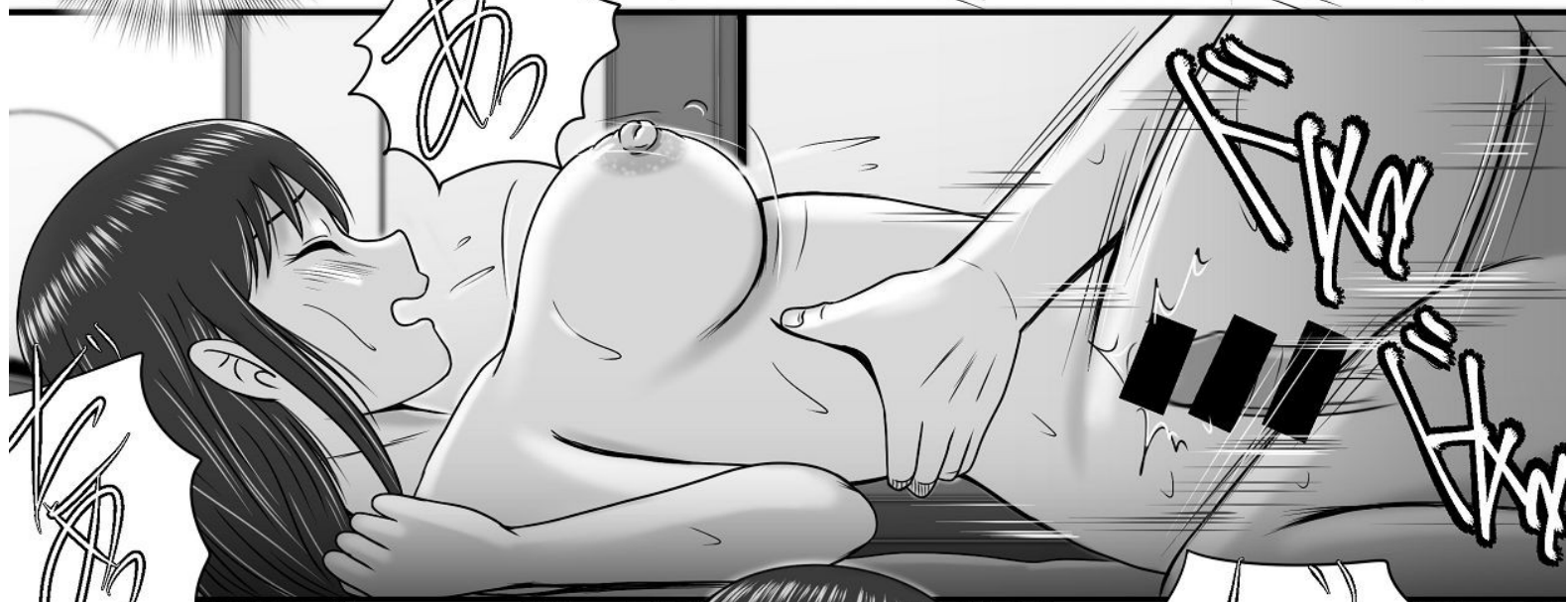


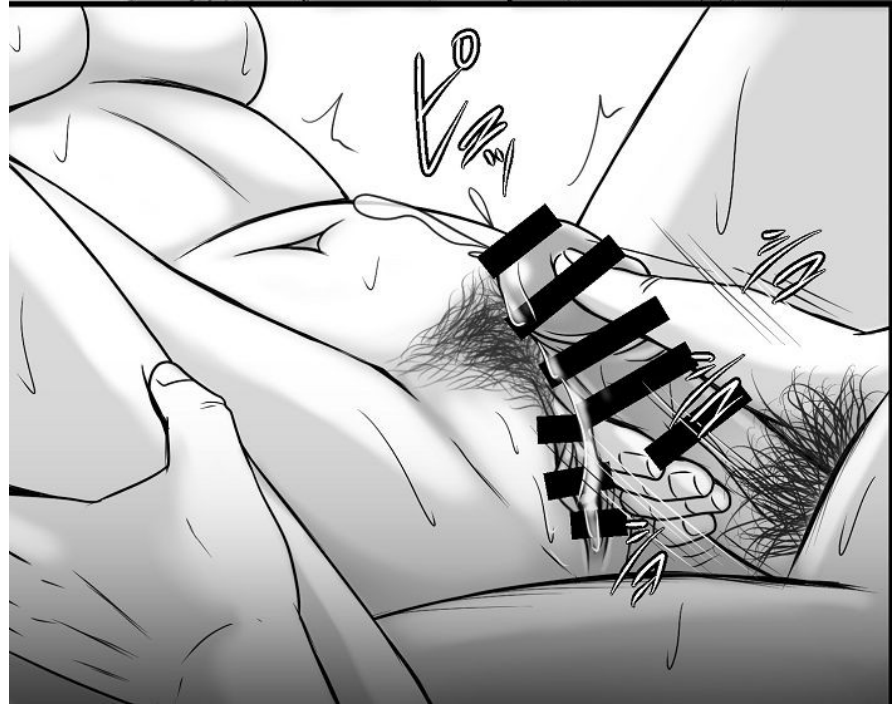
でも！

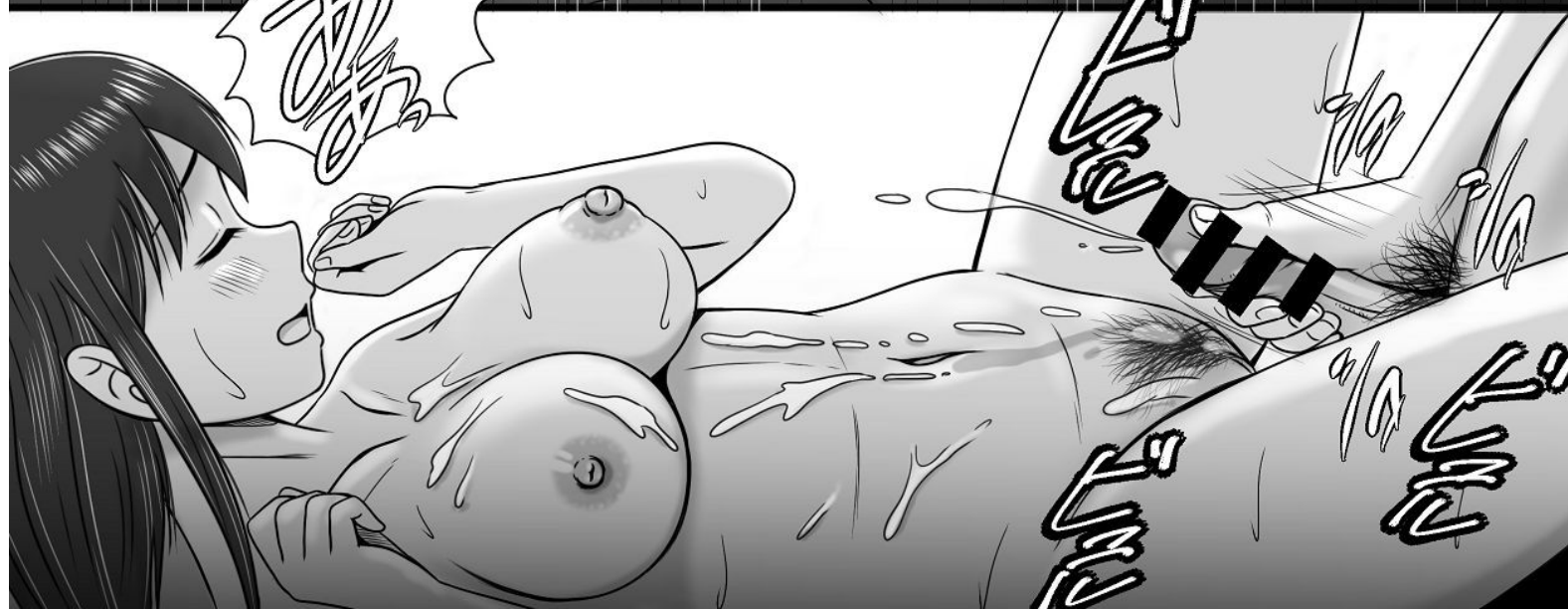


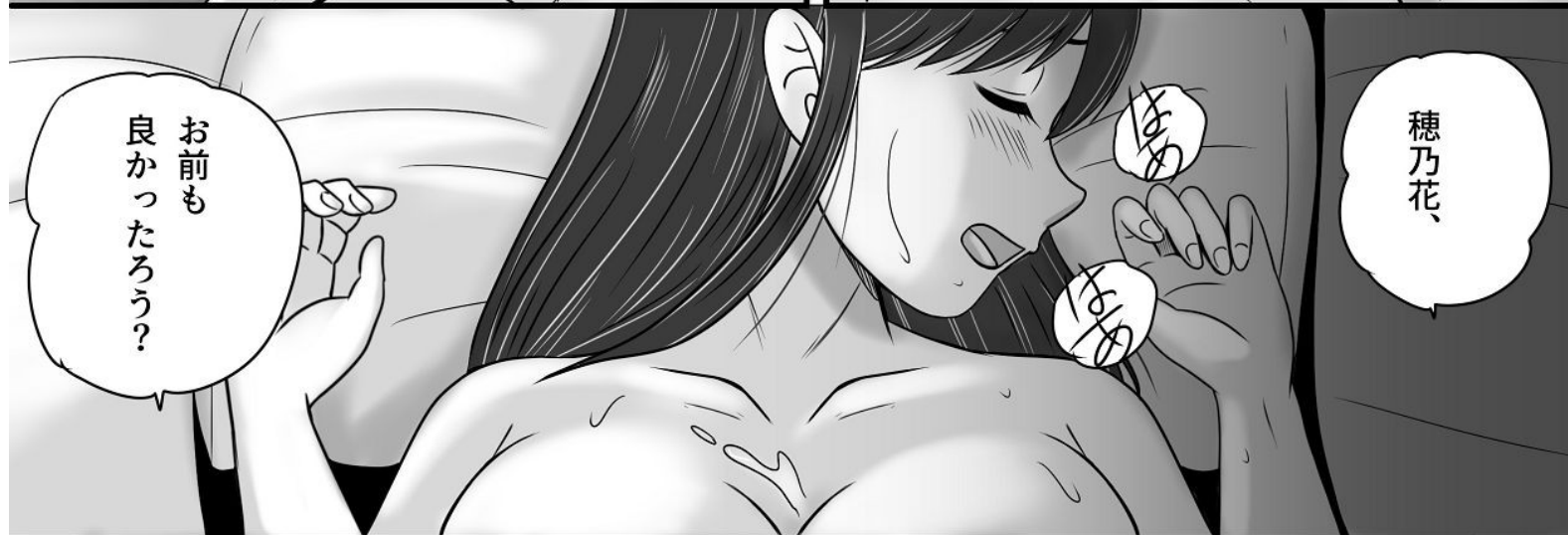
ほら！
これでどうだ！
遠慮せずに
好きなだけいけ！

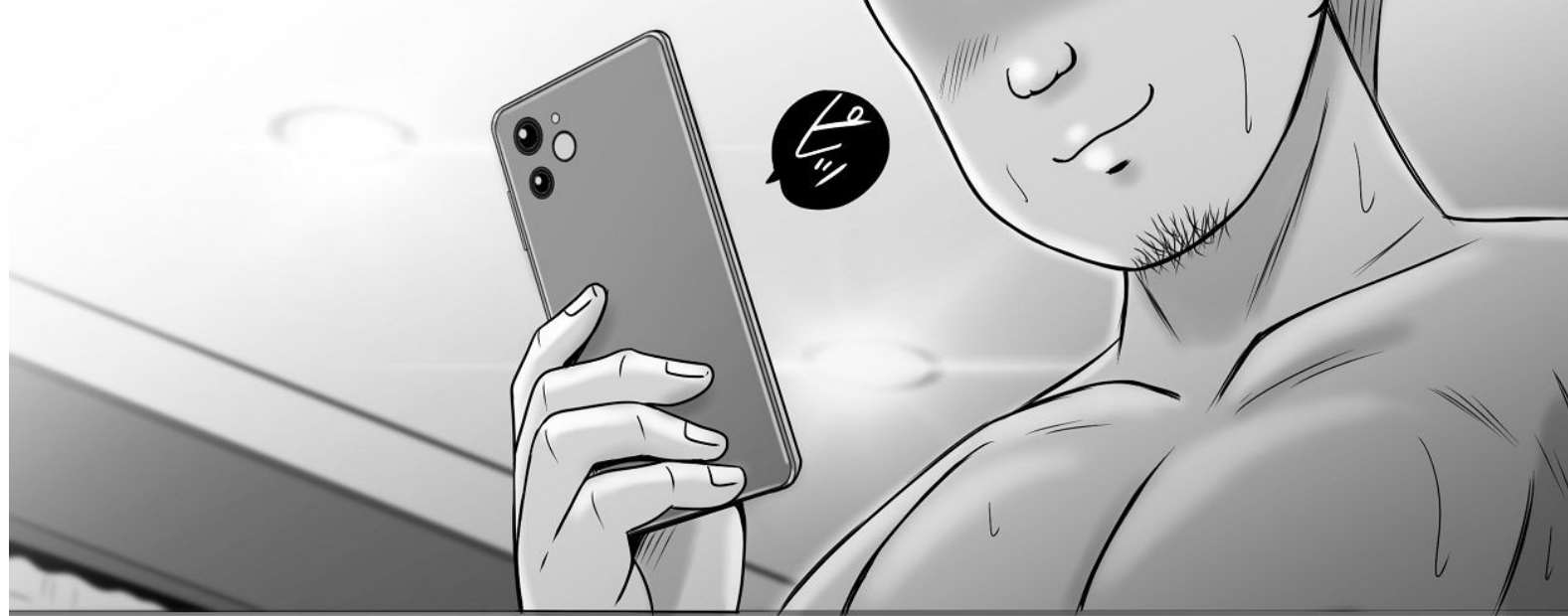
ああ！ダメ！
なんかこれ
凄い！











最後のチャンス、
直接説得して
どうにか契約まで
持ち込んでみるよ！

良かったね。

ああ！
結果が出たら
連絡するよ！
じゃあ！

待っているわ。
頑張ってるね。

圭介君…
約束を守って
くれた見たいね…

でも…

良かった…



その為に
圭介君に抱かれたなんて
絶対に言えない。



あの日は、
あそこが痛いと言って
すぐに帰ったけど…



もし、あのまま
何度も抱かれていたら
私、どうなって
いたのかしら…



ひよっとしたら
本当に
圭介君の形に…



弘明は、あんな
丁寧じゃ無いし…
大きさだって…



あんなの初めて
だった…



ひよっとして
もう、形が
変わってたら…



!

結構
広い部屋じゃないか、
家賃高いだろう。
弘明頑張ったな。



圭介君、
どうして此処が？

披露宴の
招待状に
書いてあったぜ。

どうしてって

弘明、
圭介君に
招待状を…

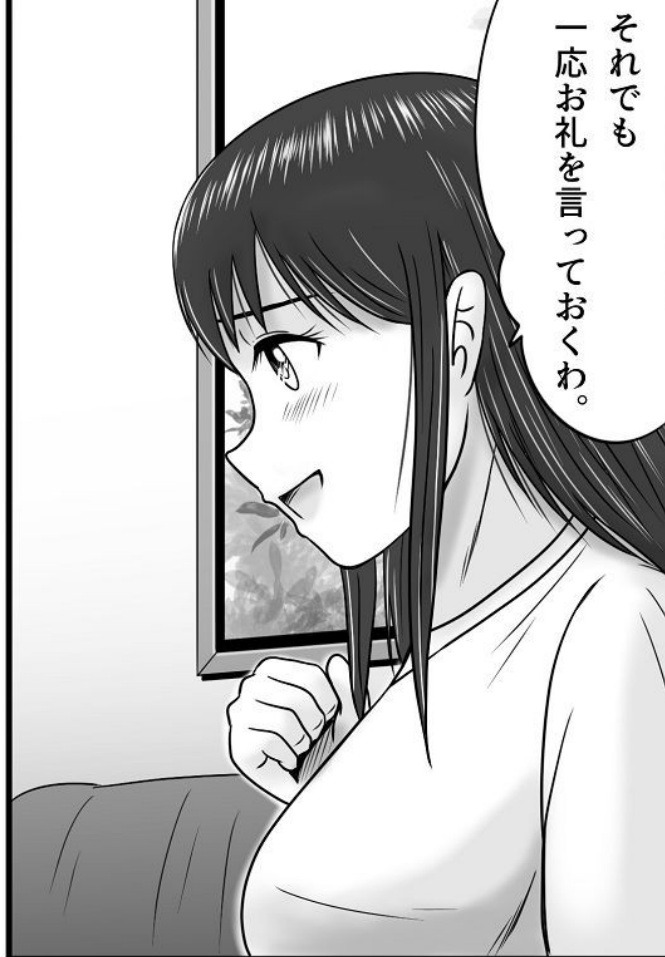
ああ、そうね…

お父さんに
話してくれた
みたいね。

何だ
知ってるのか。

最終的には
親父の判断だがね。

それでも
一応お礼を言っておくわ。



それはそうと

せっかく招待してくれたんだが
俺、行けそうにないんだ。



大事な顧客との
接待でな。

その日は出張なんだ。

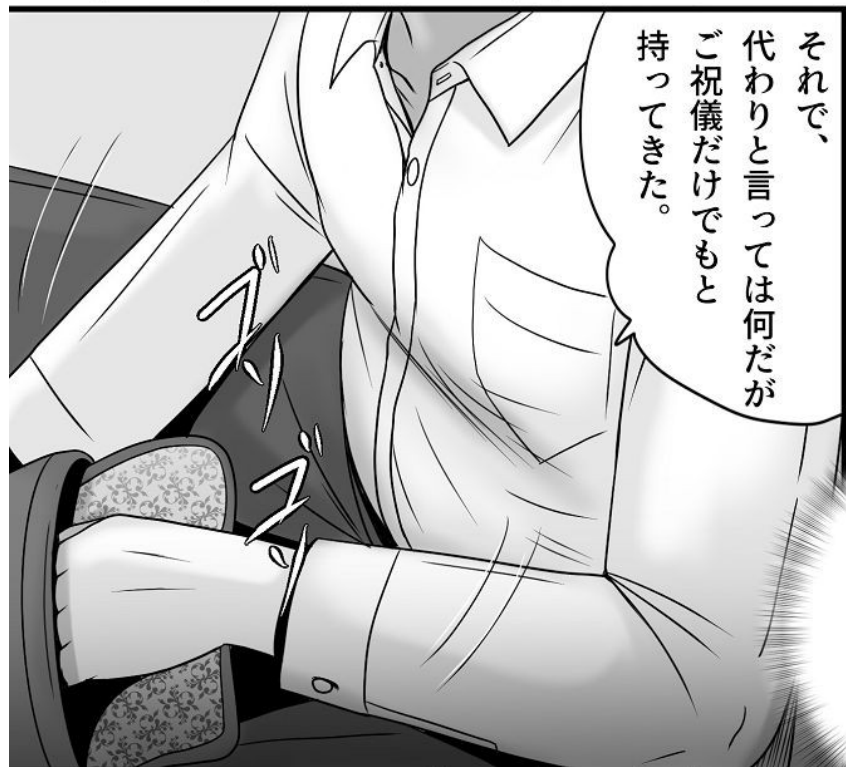


そうなんだ、
残念ね…

良かった、
圭介君
来ないんだ…



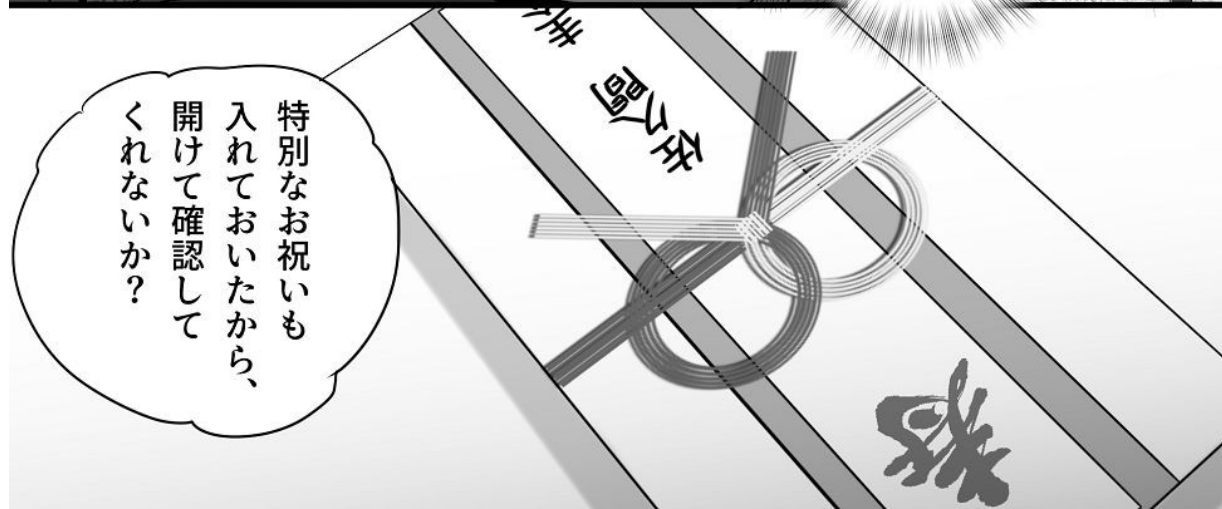
それで、
代わりと言っては何だが
ご祝儀だけでもと
持ってきた。



いずれ、
ちゃんとお祝いを
してやるから
今日の所はな。



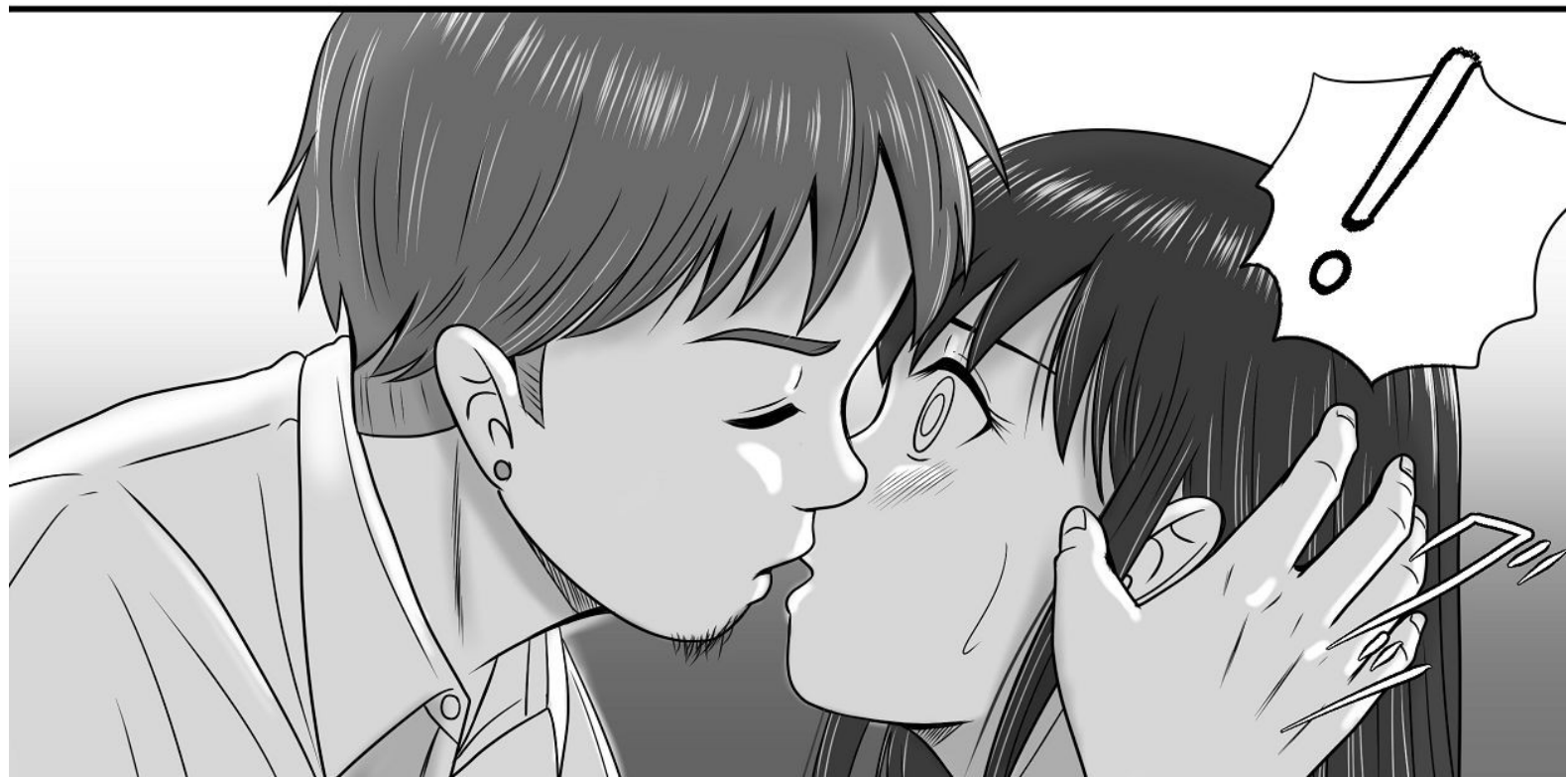
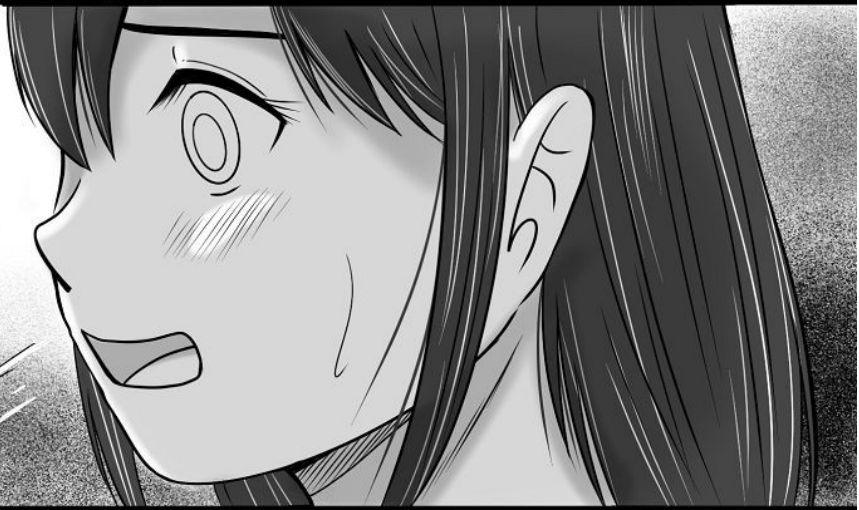
特別なお祝いも
入れておいたから、
開けて確認して
くれないか？



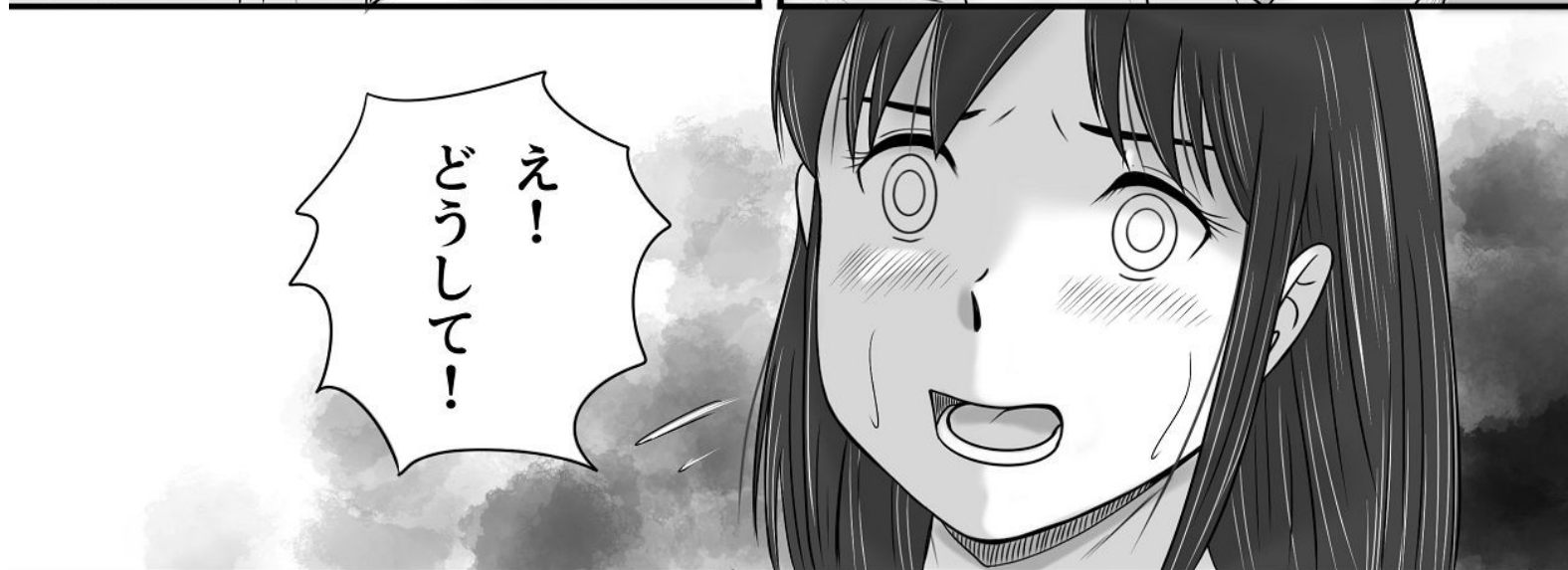
け、圭介君！
何これ！



こんな物
いつの間に！







それにあの日、
まんこが痛くなったって
嘘だろう。

あんなにびしょびしょで
痛くなるわけ無いよな。

あのまま、
俺に抱かれて続けたら、

弘明じゃ

満足出来なくなるって

怖くなったんじゃないか？

そんな事無いわ！
私は弘明を…

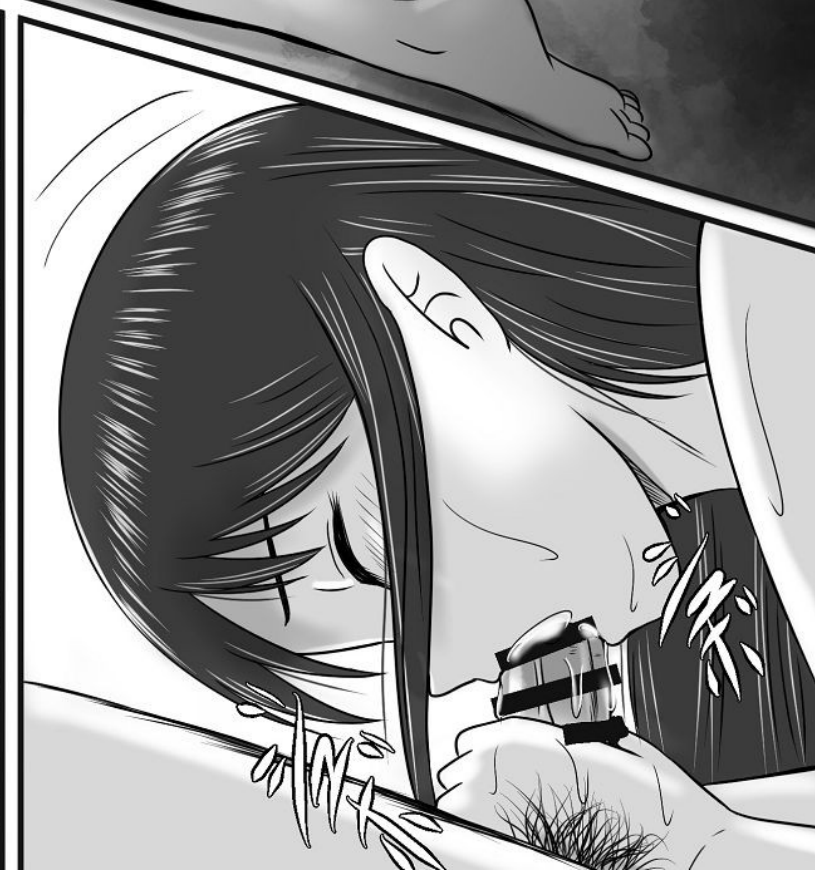
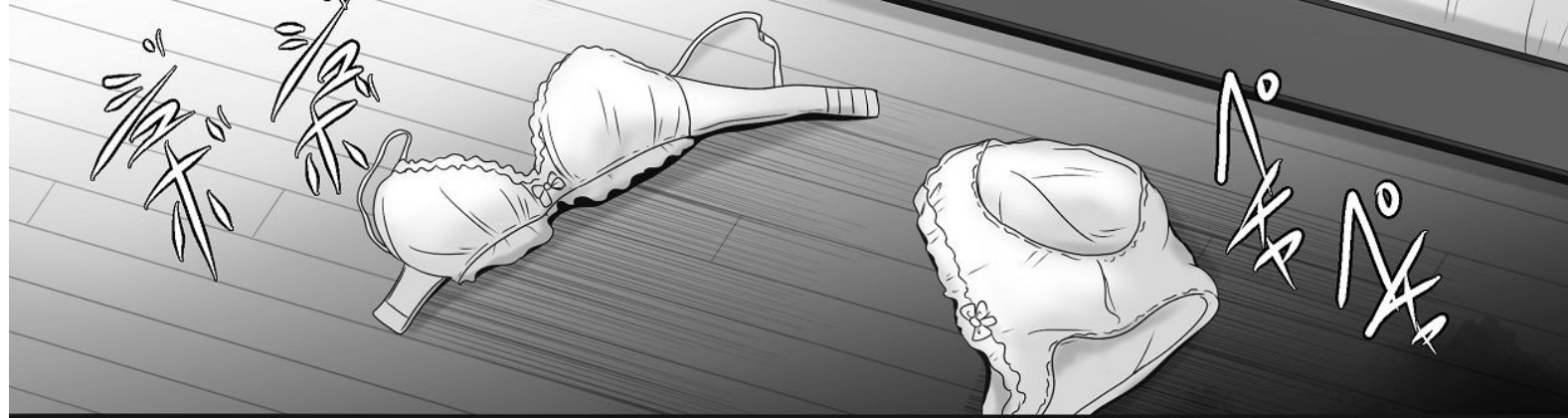
また
見透かされてる…

愛してるから
大丈夫ってか？

そうならない
自信があるなら、

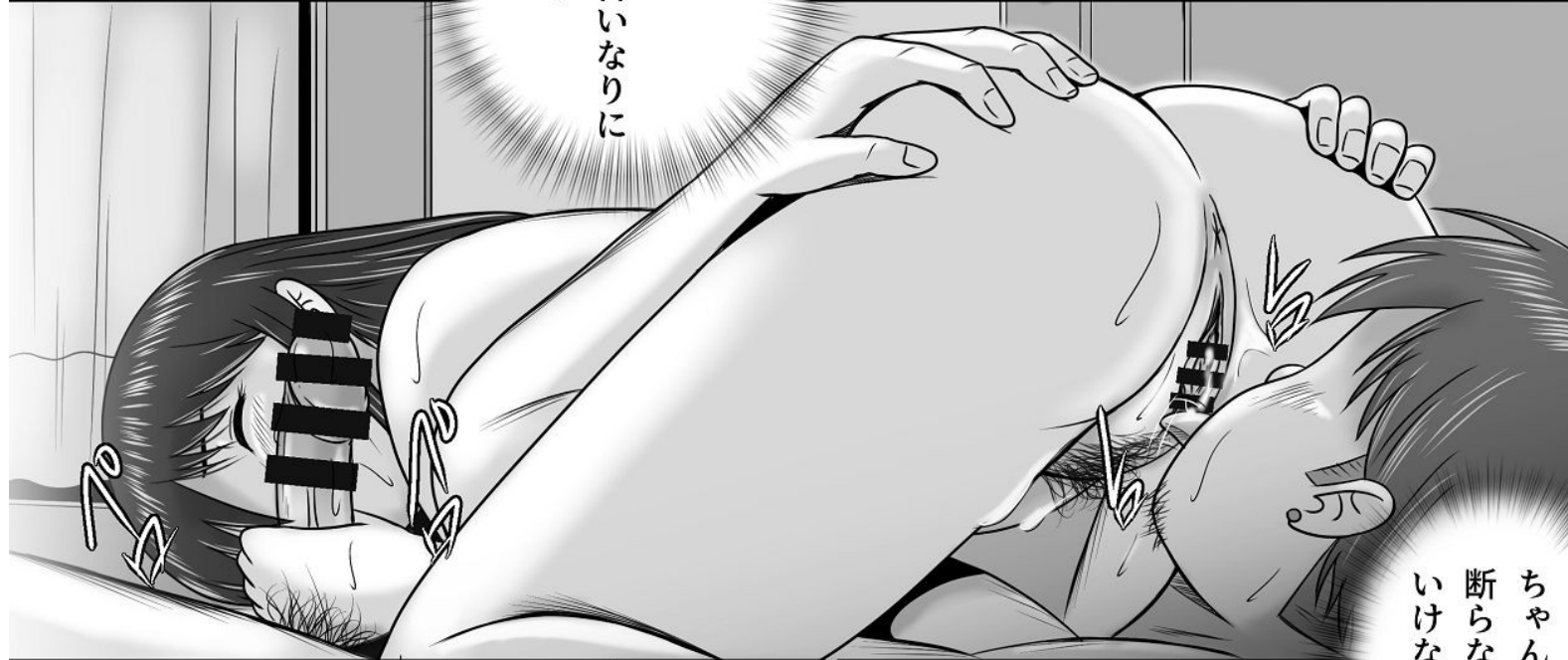
試して
みようか？

…





やだ…
私、また
圭介君の言いなりに
こんな事…



ちゃんと
断らなきゃ
いけないのに…



穂乃花、
やっぱりお前
オナってたな。



なにしろ
お前のまんこ

ヨダレ垂らして
おねだりしてるからな。



早く
何か入れててな。







あれっ！
私、なんだって
自分で圭介君のを…

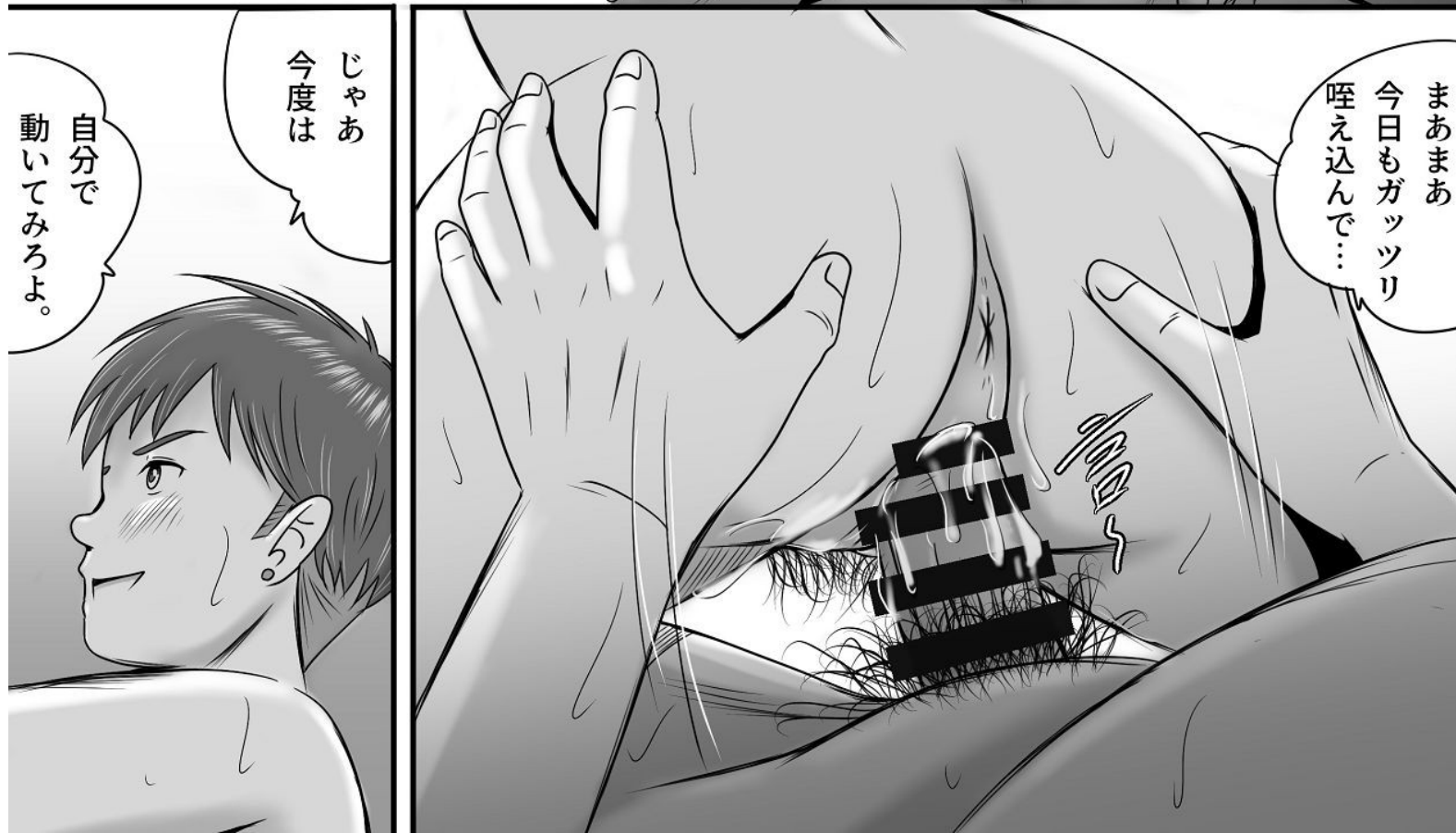
私、
どうしちゃった？

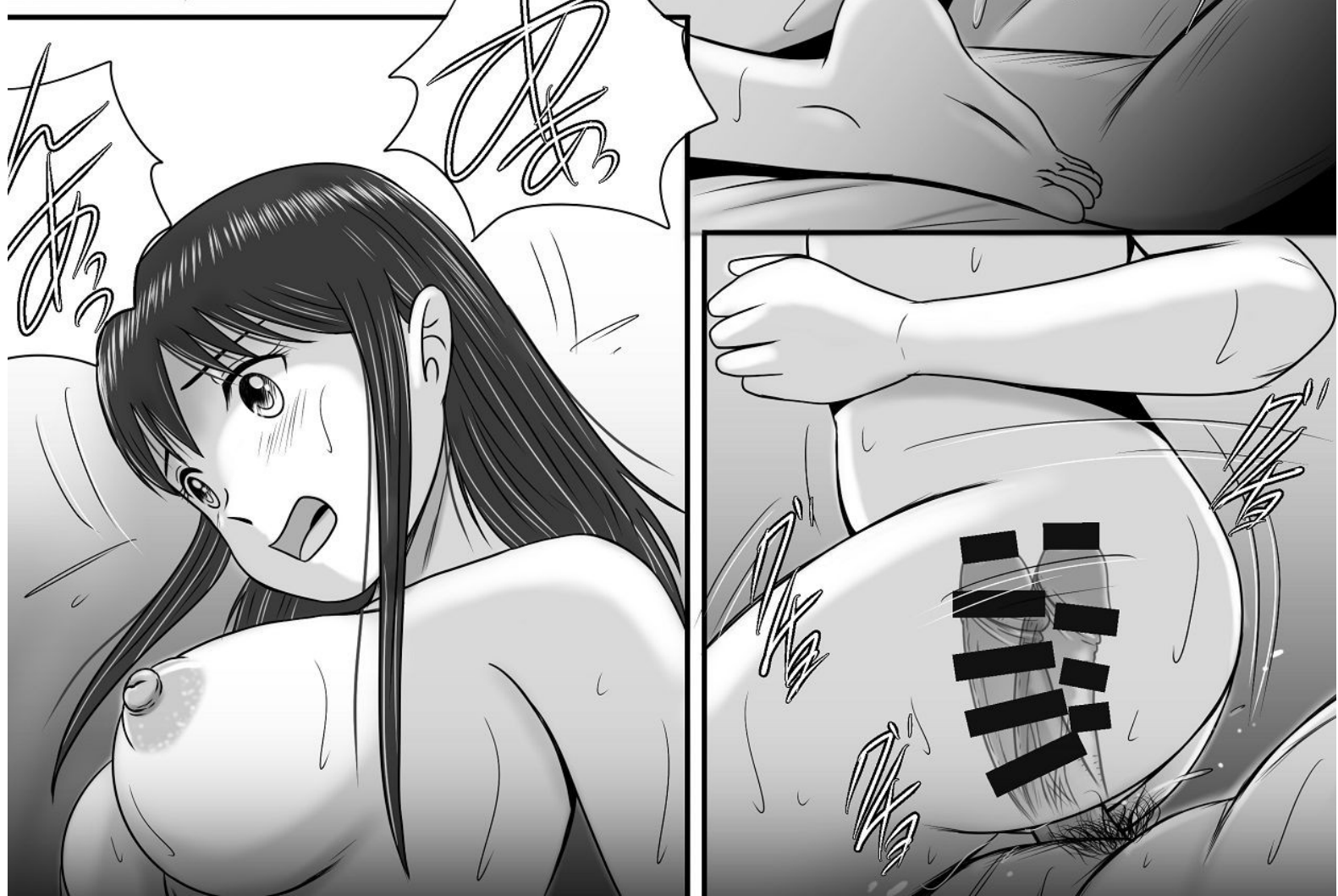


俺のちんこ
気に入ったか？

随分と
素直じゃないか？







圭介君の
おちんちん
気持ちいい！

おちんちん
気持ちいい！





後ろから
たっぷりとな!

ちよつと!

圭介君!

今、
いったばかりだから!

ダメ!
これ以上
されちゃうと...
私...

ダメダメ!

はっ!

ズッ
ズッ
ズッ

俺さあ！

いきたてまんこ
がん突きするの
好きなんだよね！



け、圭介君！

そんなに
突いちや！

凄え！

めっちや
締まる！
締まる！

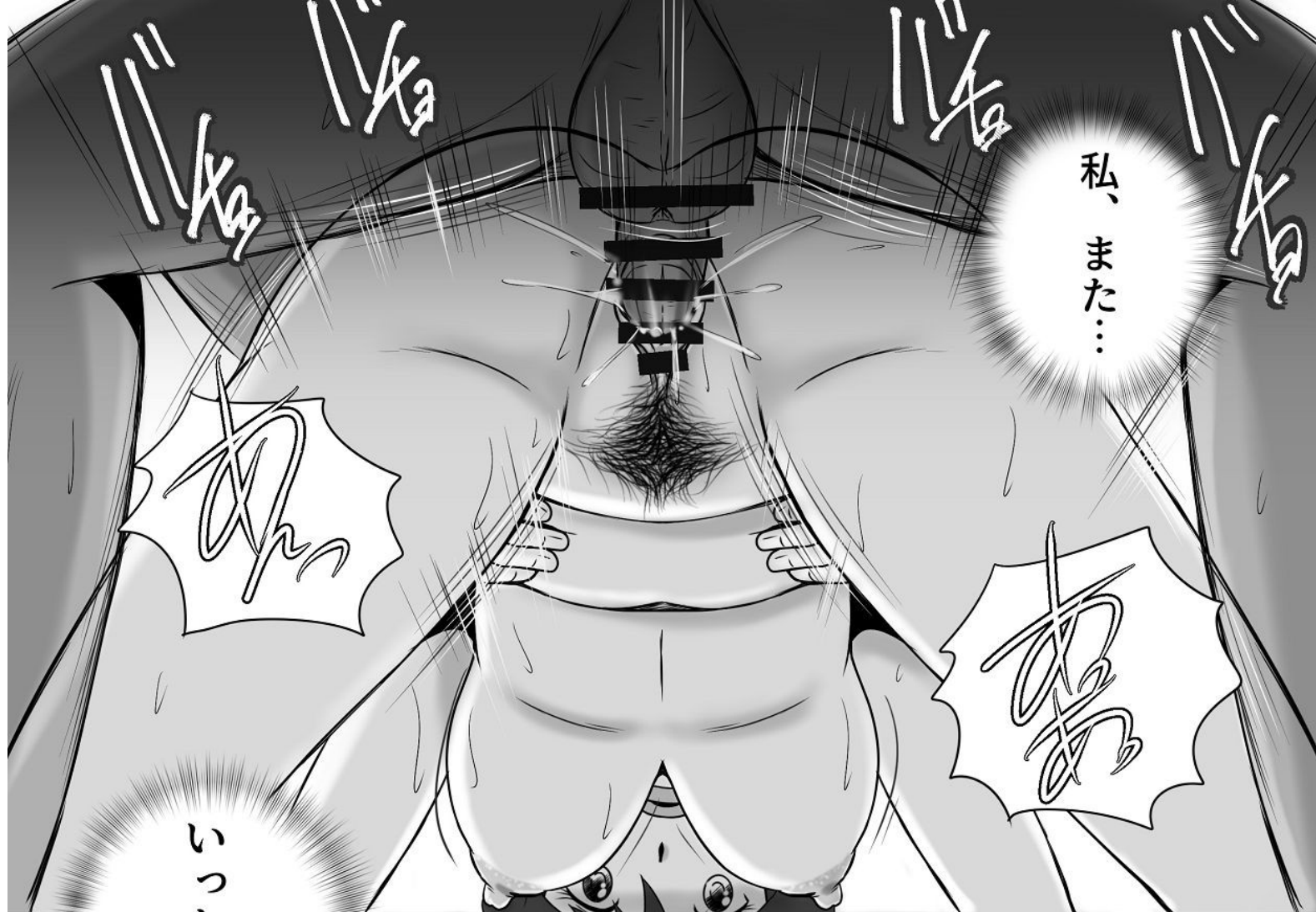


人告

弘明：

ごめん……







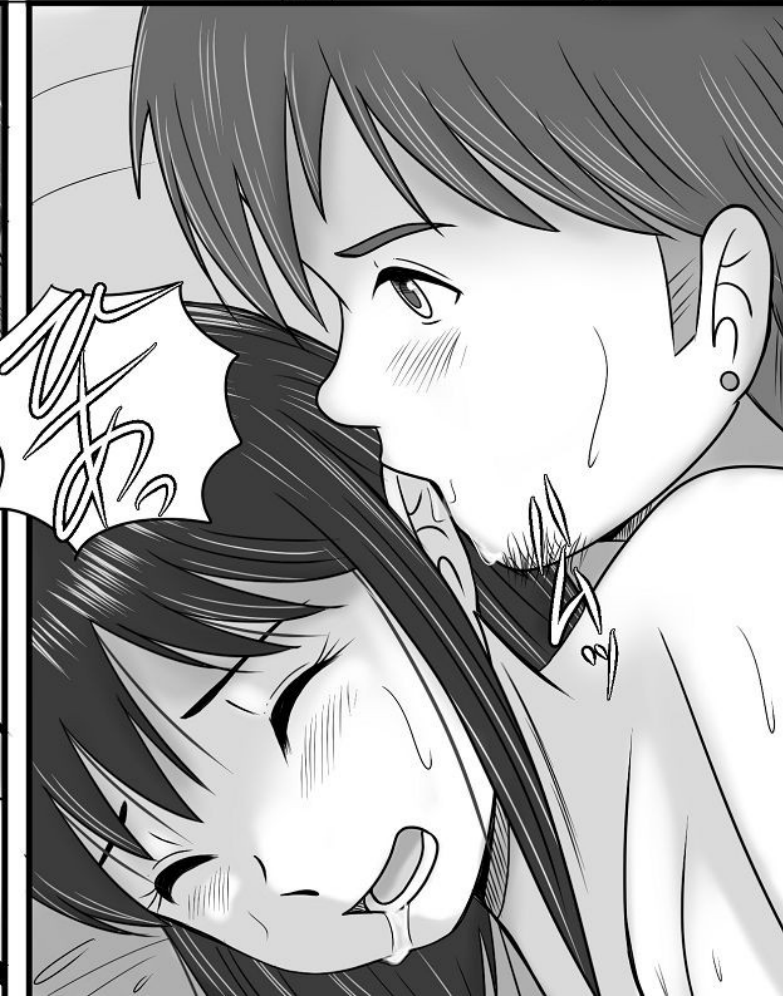
私：
いったい
どうしちゃったの…

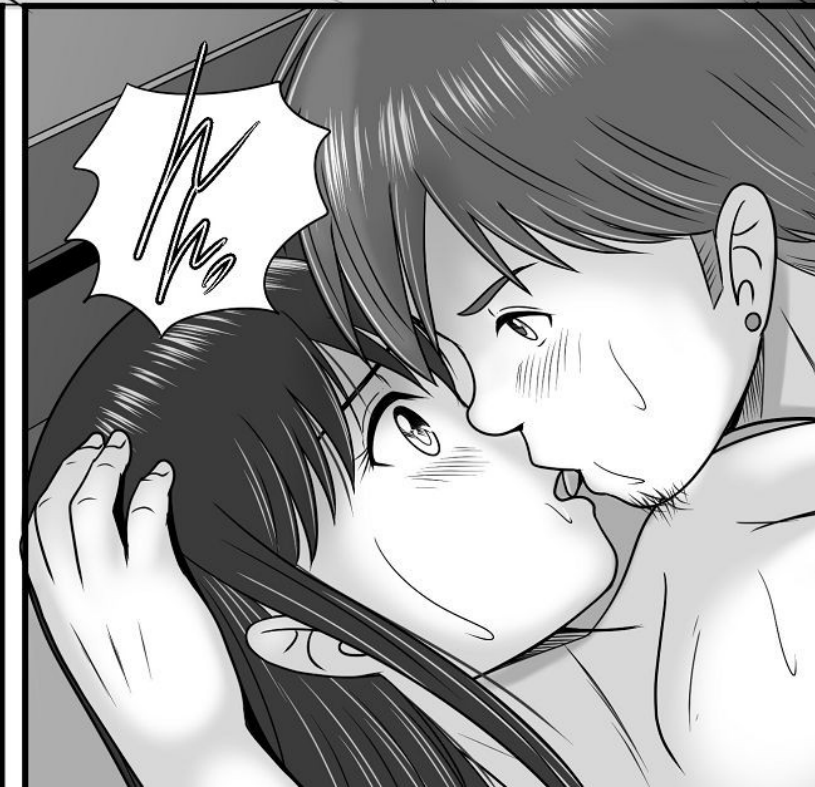


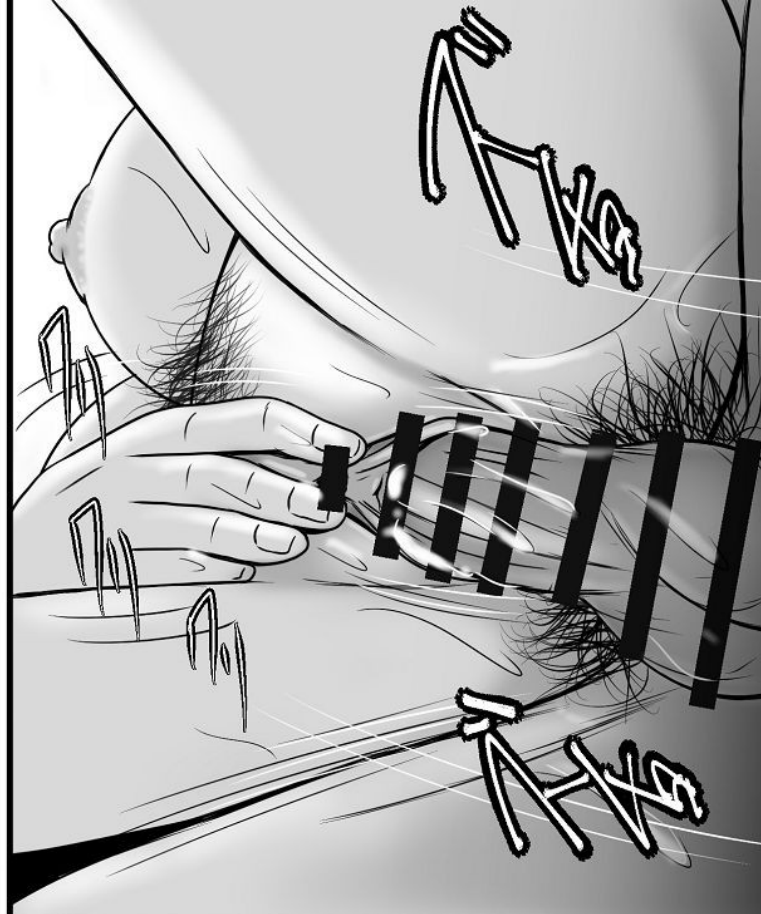
穂乃花、
凄いな。

さっきから
いきっぱなし
じゃねえか！















弘明！



えっ！



弘明！
どうしたの？

ああ！
穂乃花！
やったよ！

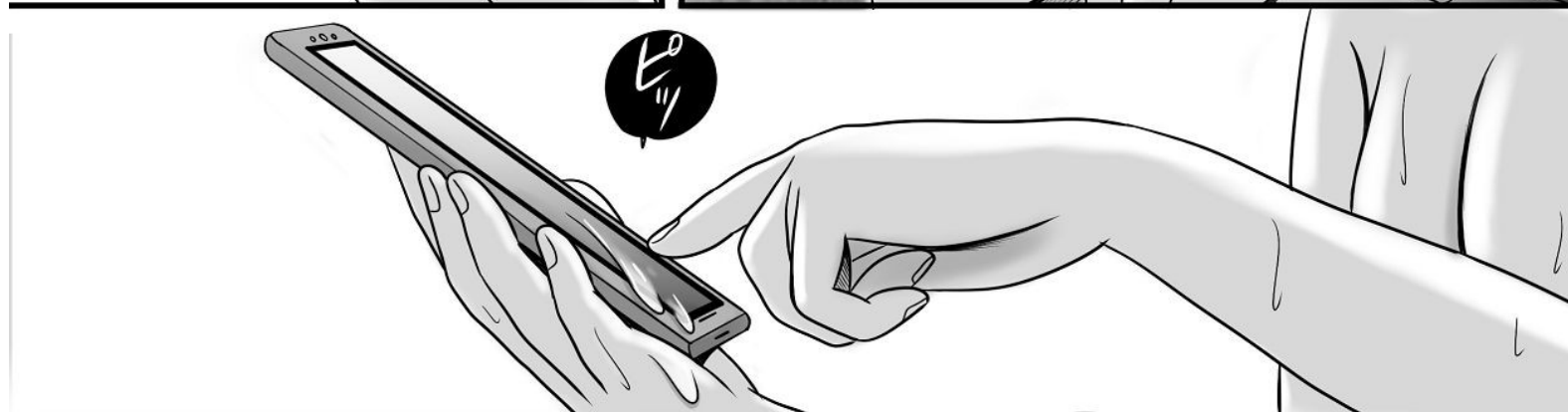
社長の一存で
予定通り契約
してくれる事
になったんだ！



そうなの
圭介君が…

どうやら圭介が
お父さんを説得して
くれたみたいなんだ！





圭介君
お願い！
今はやめて！



とにかく
弘明とちゃんと
話させて！

後でなんでも
するから
お願い！



なんでもねえ…



弘明ごめん！

穂乃花？
大丈夫？
誰かいるの？



驚いて
ちよつと
むせただけ…

ところで、今回の契約
だけじゃないんだ。
圭介のお父さん、
うちの会社に投資までしてくれるって！



急に態度が変わったのには
驚いたけど
これで、借入金は
全部返済できるし、
新しい事業も始められる。

ホント
圭介には
感謝だよ！

そ、
そうね。

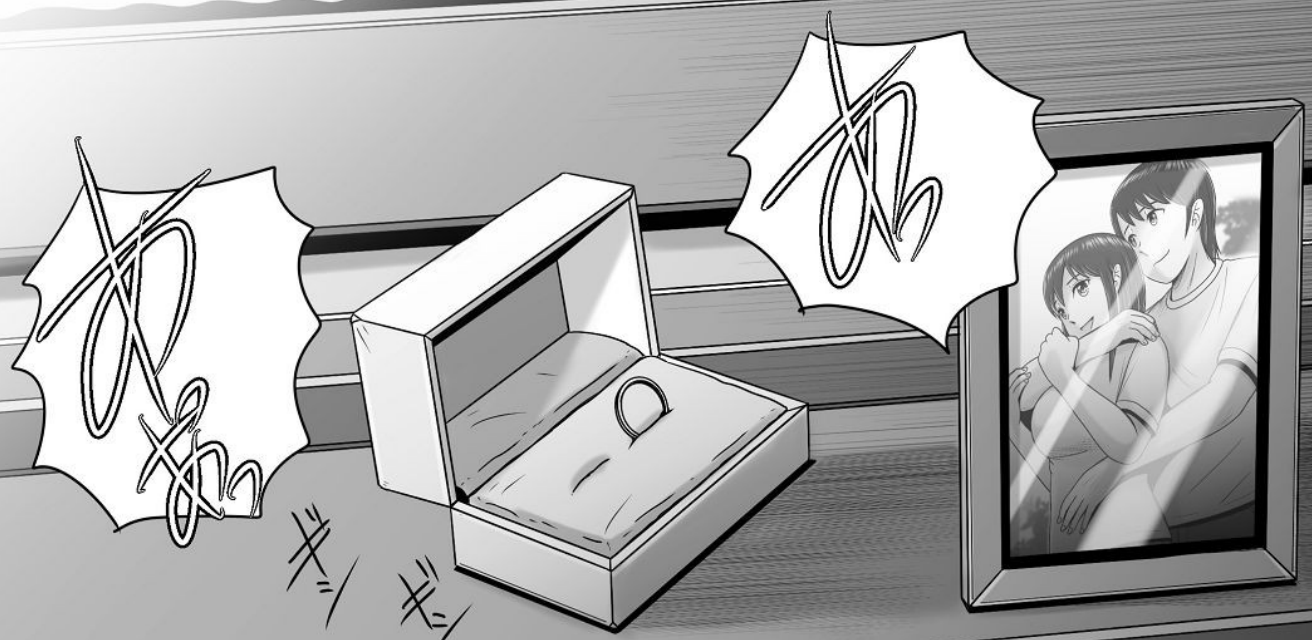
明日には
行けるから
詳しくはその時に、
じゃあ！

うん、
じゃあね。

良かった…

良かったな。
じゃあ…

…





ああ！
どうして！



いやあ
最高だな！
人妻穂乃花！

結婚式まで
しないはず
だったのに…



穂乃花の花嫁姿
見られないのは残念だが
コレはコレで
最高だぜ！



じゃあ
確認して
みようか?

弘明の
モノだったか?

穂乃花、
見てみろよ！

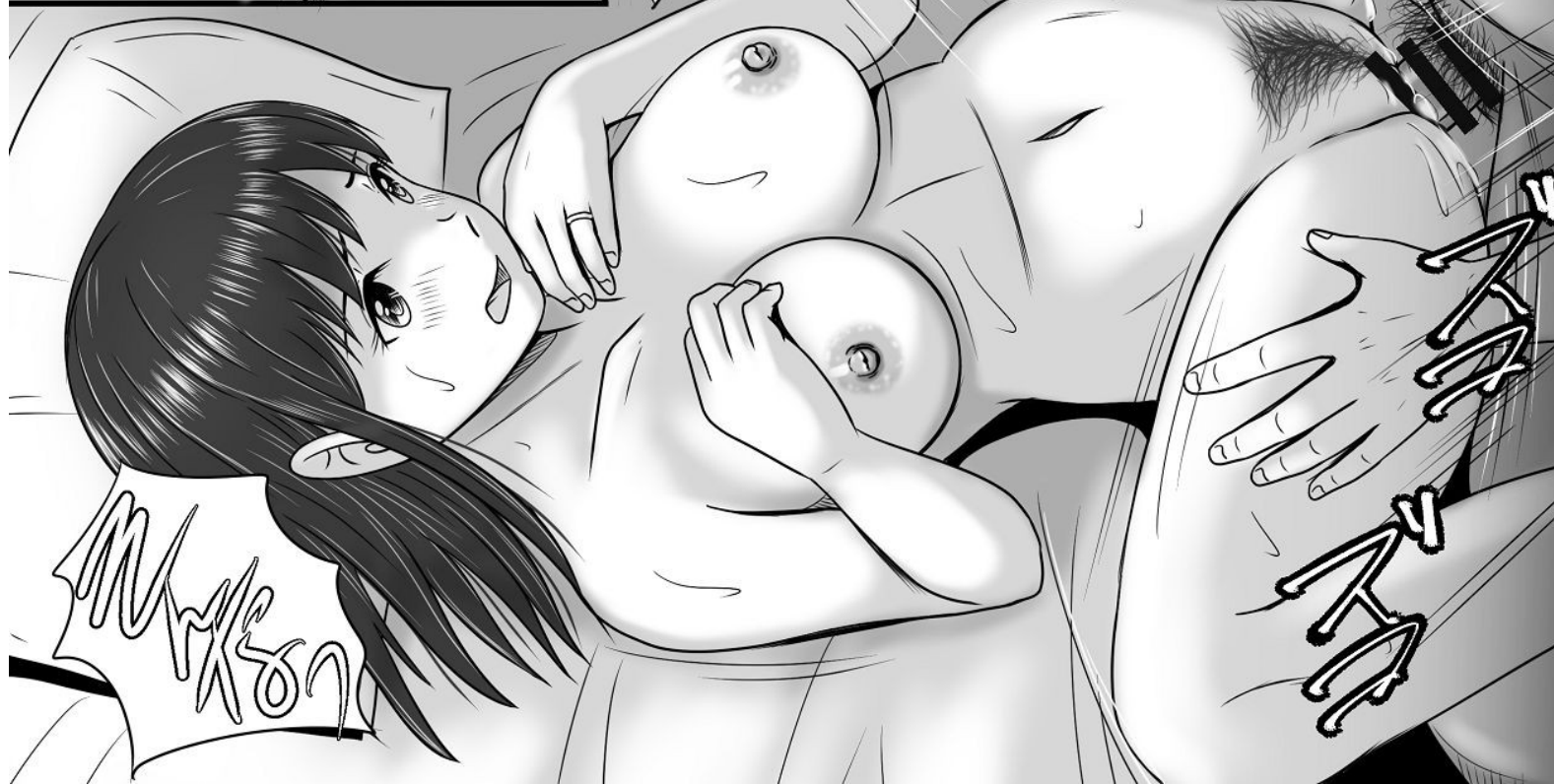
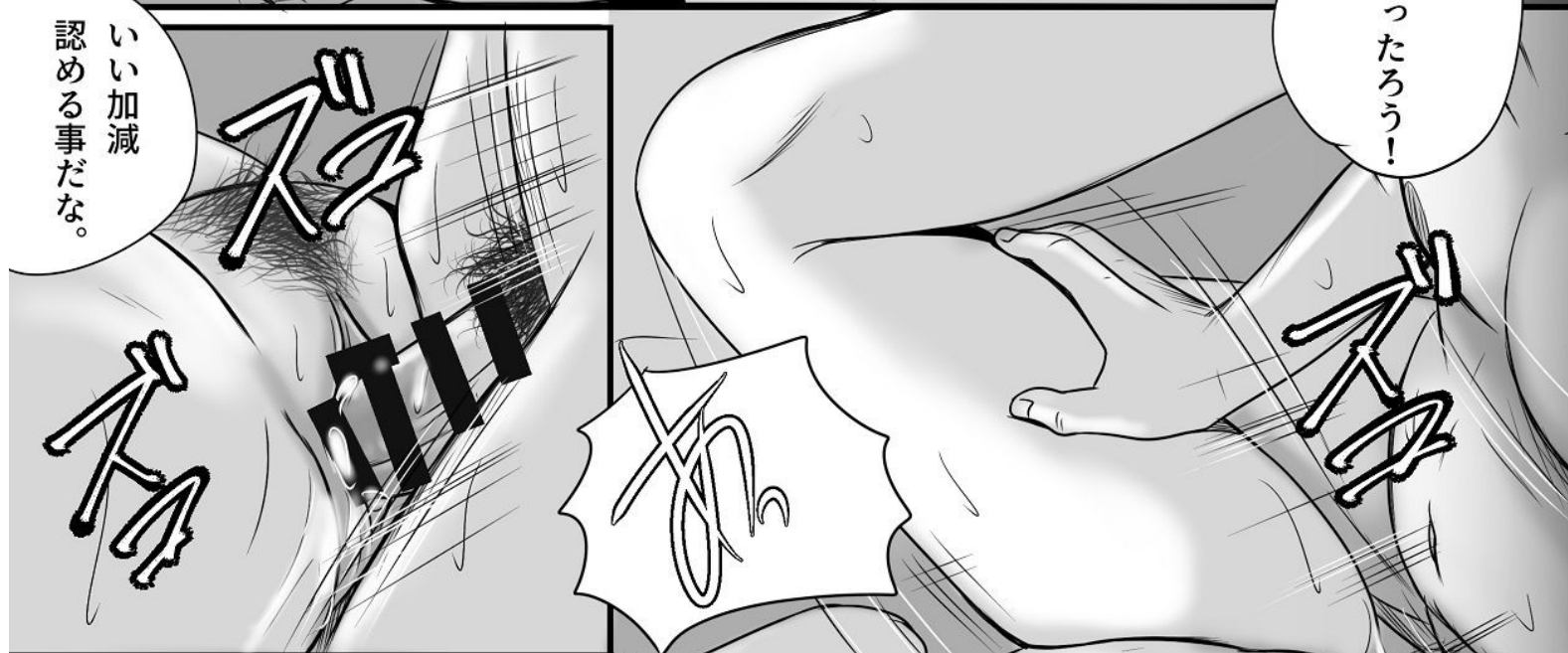
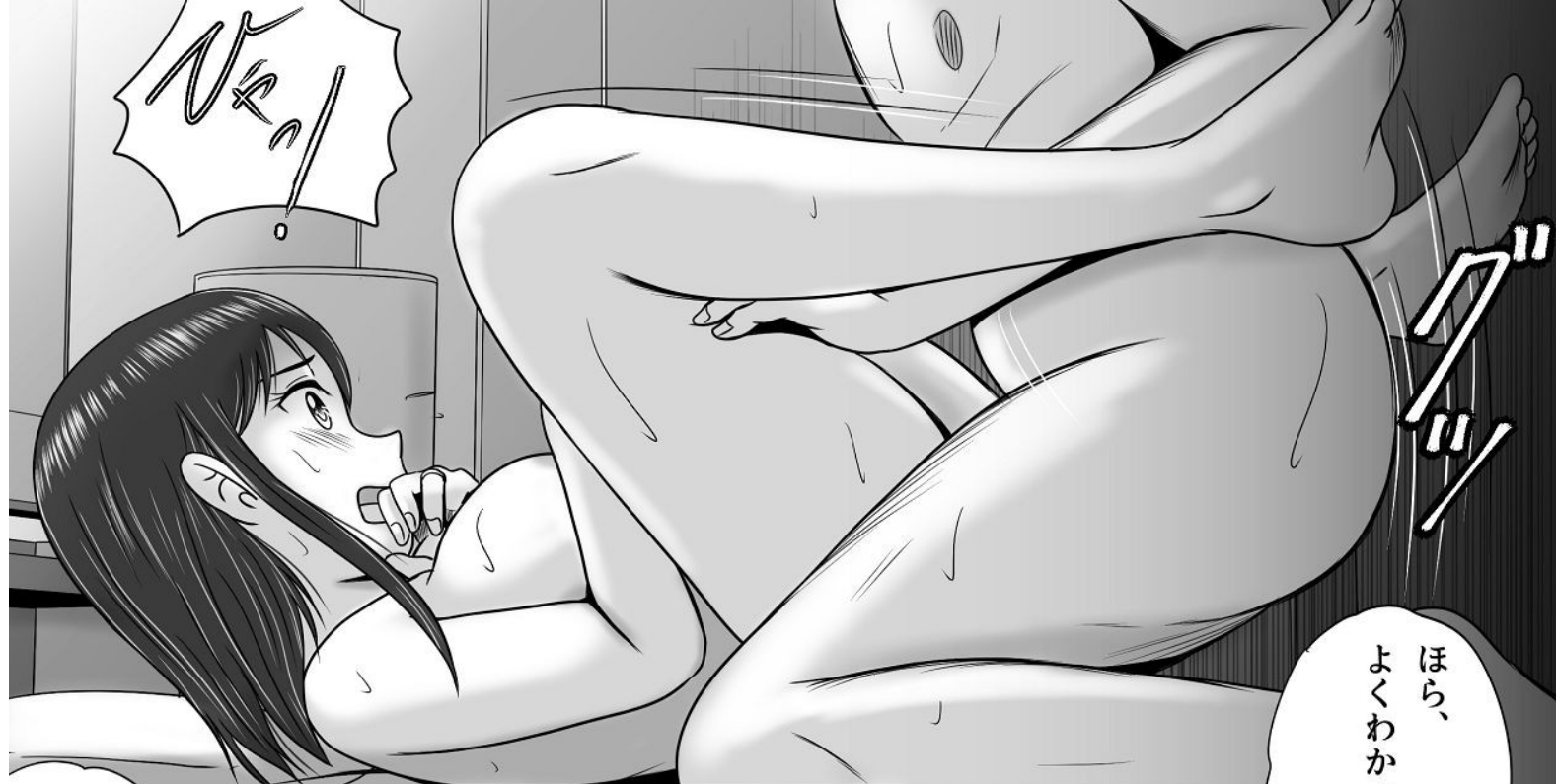
お前のまんこ
こんなにガッツリ
啜え込んでるじゃねえか！

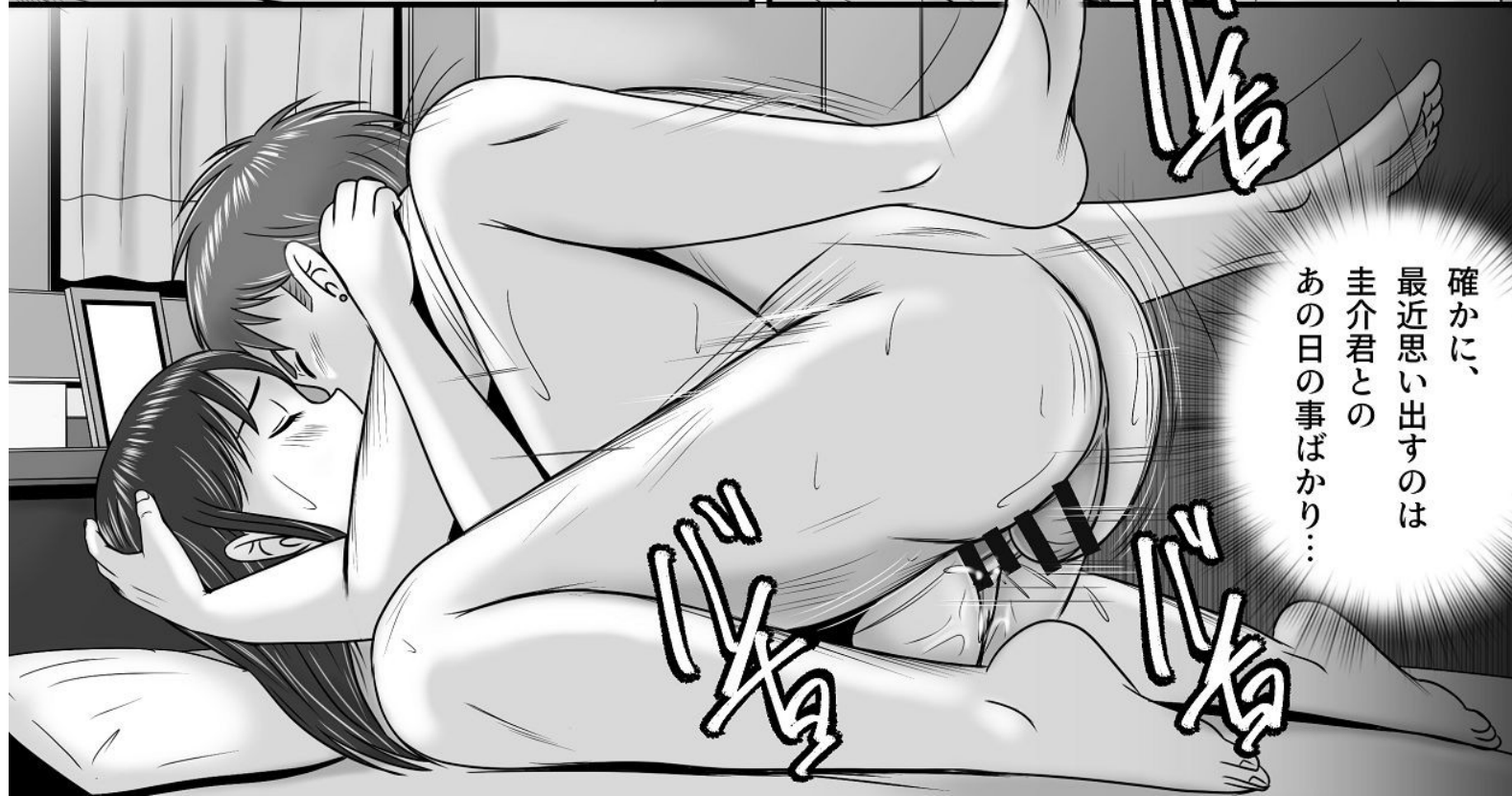
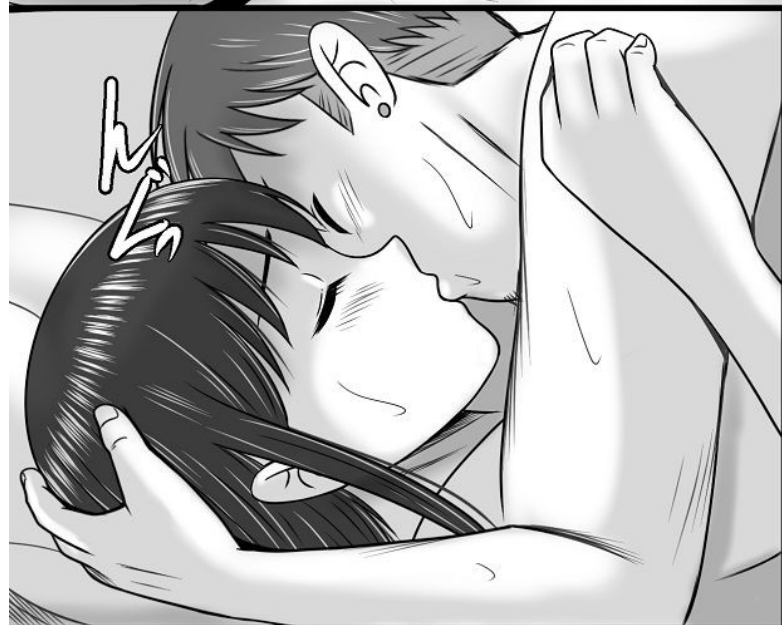
そういえば
さっきから
何か変…

お腹が凄く熱くて
体が圭介君を
求めてるみたい…

もう、形が
変わって
しまったの！

グハッ









圭介君！
聞いて！

中はダメなの！
お願いやめて！

だめ！
もっと強く拒絶
しなきゃ！

でもどうして？
できない！

あー
出る
出る
出る！

圭介君！
お願い！

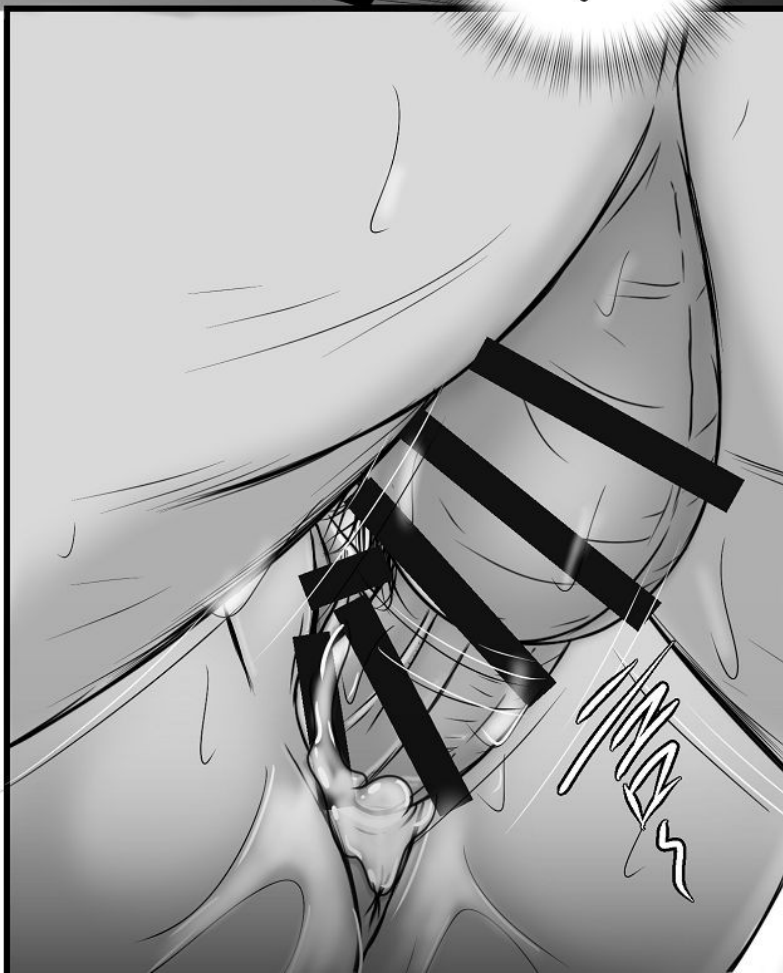
穂乃花！
しっかり
受け取れ！





中に…

出されて
ちゃった…





穂乃花、
中出しは
最高だろ！

弘明…

ごめん…



今日は
まだいけるよな？

あ

その日はそれから…

あ



圭介君は何度も私を犯しました。



そして、何度も私の中に射精しました。

抵抗感も無くなり
私も知らず知らずに受け入れてしまっていました。

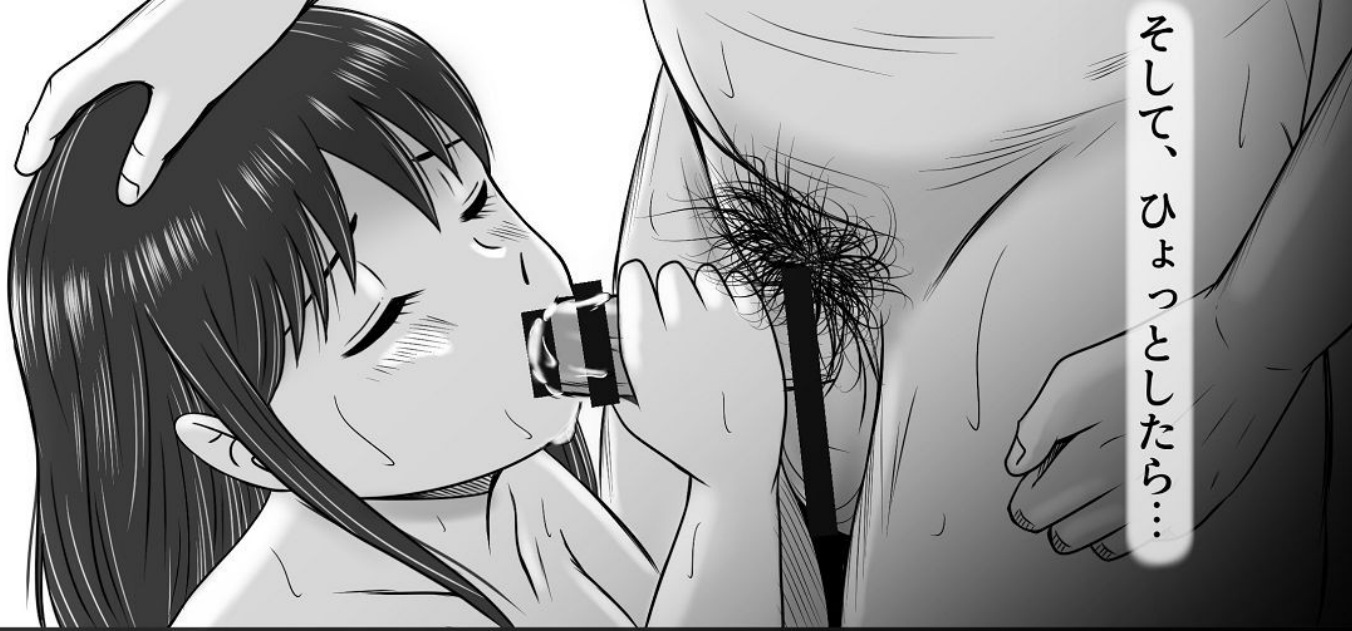




私も何度も絶頂しました。

私のおそこは
すっかり圭介君の形になってしまったのかも
しれません。

そして、ひよっとしたら…



心の形までも…



疲れ果てた私は、



いつのまにか
眠ってしまいました。



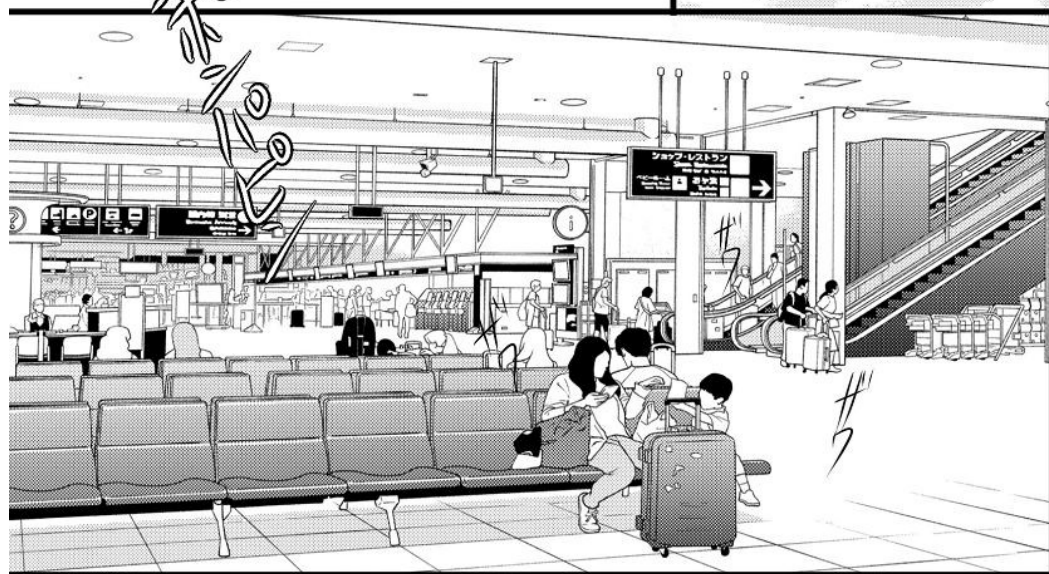
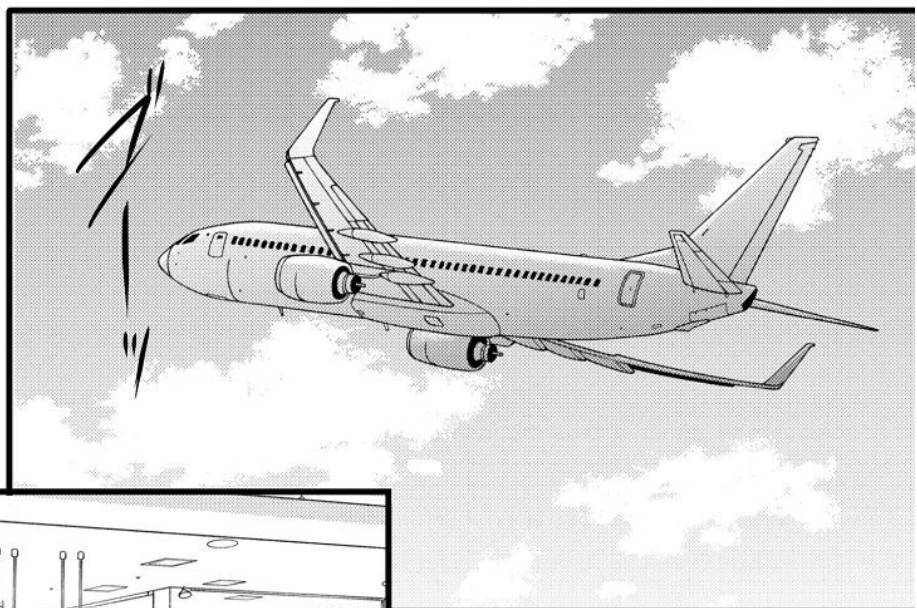


ま、まさか…





数日後…





穂乃花…



幸せにな。



末長く

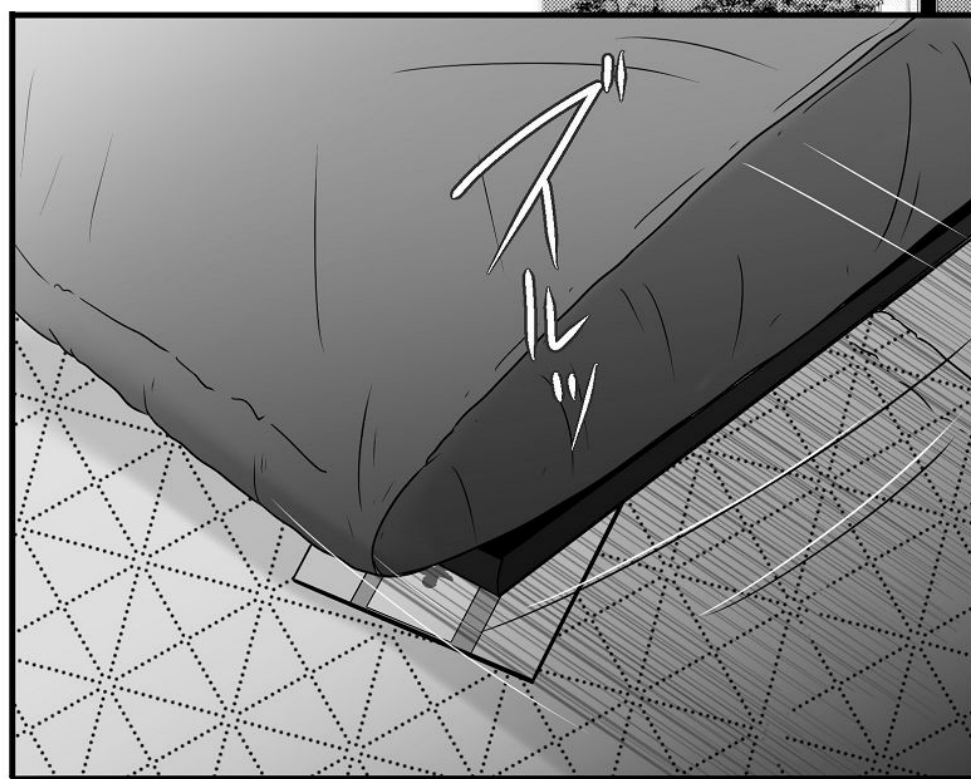
更に数日後、弘明の引越しの日…

穂乃花、俺の荷物
何処に置けば良い？

とりあえず
リビングに
置いて〜。

リビングって…

まずは
ソファを
どかさか…



汚されたマリッジリング 完…



JUST MARRIED

私たち、結婚しました
新生活をスタートします
お近くにお越しの際は
ぜひお立ち寄りください

桜木 弘明・穂乃花 (旧姓・藤咲)

お買い上げ頂きましてありがとうございました。
次回作にもご期待ください！